

取扱説明書(WEB)

ドラム式洗濯乾燥機

型番:HDK842Z-W



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ご使用の前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ヘルプガイドの使いかたは、「[WEB マニュアルについて P2](#)」をご確認ください。

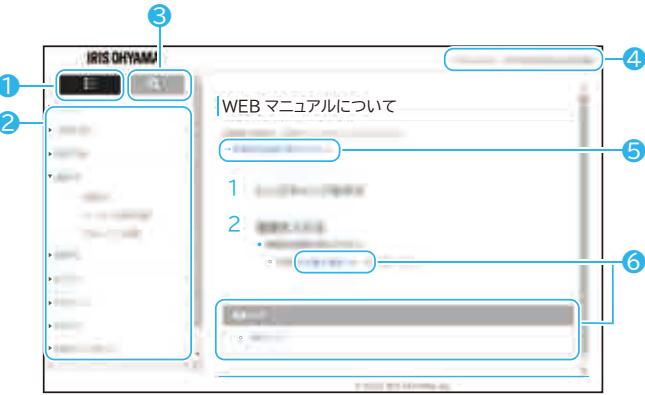
この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge(ブラウザ最新版)、Google Chrome(ブラウザ最新版)

◆WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願ひいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報に飛びます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページに飛びます。

◆検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

ご使用の前に	7
安全上の注意	7
使用上の注意	12
各部の名称	14
操作パネル	16
自動投入部	18
手動洗剤投入ケース	19
乾燥フィルター・内部フィルター	20
付属品	21
洗濯・乾燥の流れ	24
容量ランプについて	28
据え付け状態の確認	29
運転前の準備と確認	31
乾燥前の注意	33
洗濯物の確認	35
洗濯物の仕分け	36
洗濯物の入れかた	38
ドアロック・チャイルドロック	41
自動投入機能について	43
基準量を設定する	45
洗剤・柔軟剤・漂白剤について	47

取り扱いかた	50
洗濯コースと設定可能な行程	50
洗濯・洗濯～乾燥する	52
乾燥する(乾燥のみを行う場合)	55
各種コースの説明	58
手洗いコース	59
毛布コース	62
ふんわりシワ取り(80%乾燥)コース	66
温水(60°C・40°C)コース	69
スポーツウェアコース	73
厚物衣類コース	76
コース設定を変更する	79
脱水のみなどの個別運転をする	83
おこのみ登録	86
タイマー予約運転	90
上手な使いかた	93
お手入れ	96
お手入れについて	96
液体洗剤タンク・柔軟剤タンク	97
手動洗剤投入ケース	100
本体・ドア・ドアパッキン	101
糸くずフィルター	102

糸くずフィルターの磁石が外れたら.....	104
乾燥フィルター・内部フィルター.....	106
ドラム(槽クリーンコース).....	108
銀イオンカートリッジの交換.....	111
こんなときには.....	113
困ったときは.....	113
お知らせ表示が出たら.....	117
アフターサービスとその他の内容.....	119
仕様.....	119
保証とアフターサービス.....	120
お問い合わせ.....	121

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P9](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------

	警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	<ul style="list-style-type: none">・ ドアを開けたまま離れない・ 子どもをドラム内に入らせない 子どもがドラム内に入ると、閉じ込められ、窒息死などの危険があります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 廃棄のために仮置きするときは、必ずドアを外す 子どもがドラム内に入ると、閉じ込められ、窒息死などの危険があります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	<ul style="list-style-type: none">・ 電源プラグのほこりは定期的に取る ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none">・ お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。

 水ぬれ手禁止	<ul style="list-style-type: none"> ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードをたばねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 電源コードを傷つけない 電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 洗濯機を電源プラグに押しつけない 据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、アイリスコールへお問い合わせください。 延長コードは使用しない 過熱してやけど・火災の原因になります。

据え付けについて

	<ul style="list-style-type: none"> 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない 火災・感電の原因になります。
 水ぬれ禁止	<ul style="list-style-type: none"> 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない 漏電やショートを起こし、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもや、補助の必要な人に一人で使わせない 必ず、本製品の安全な使いかたを理解している保護者・介助者の補助のもとで使用してください。
 火気禁止	<ul style="list-style-type: none"> 灯油、ガソリン、ベンジンなどの可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけたりドラム内に入れたりしない 火災の原因になります。

- ・油や引火物が付着した洗濯物、引火の可能性がある洗濯物は、洗濯後でも絶対に乾燥させない運転時の爆発や火災、自然発火の原因になります。
 - 植物系油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル(エステ系オイル、ボディオイルなど)、シンナー、ガソリン、ベンジンなど
 - ポリプロピレン繊維製品、樹脂(セルロース系)
- ・ライター及びマッチのような全てのものをポケットから取り除く火災の原因になります。



- ・アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- ・アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。



- ・雷が鳴りだしたら、洗濯機やコンセントに触れない
感電のおそれがあります。

- ・異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕



- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々電源が切れる
 - 触るとピリピリ電気を感じる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



- ・分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にご相談ください。



注意

誤った取り扱いをすると、人けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

据え付けについて

	<ul style="list-style-type: none">キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない 脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財の破損の原因になります。カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない 火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">確実に排水できる場所に据え付ける 水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">給水ホースは確実に接続する運転前に、給水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する ねじなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。運転後は水栓を閉じる
	<ul style="list-style-type: none">洗濯機の上に乗ったり、寄りかかったりしない洗濯機の上にものを載せない 転倒事故などの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">洗濯機の下に手や足などを入れない 回転部などに触れるokeがの原因になります。
 プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none">電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 絶縁低下により、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">防水性のもの、水を通しにくいものは、洗濯・脱水しない 洗濯物の飛び出しや脱水時の異常振動により、けが・家財の損傷・洗濯物の損傷・水もれなどの原因になります。 防水性のもの・水を通しにくいもの バスマット・レインコート・サウナスーツ・ウェットスーツ・おむつカバー・寝袋・スキーウェア・自動車などのカバー・防水シートなど

	<ul style="list-style-type: none"> ぬれたものや、水の入ったバケツなどを洗濯機の上に置かない 洗濯機内部に水が入ると、感電や火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> スプレーをかけない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など) 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナーなど)、可燃性のものを入れない 火災の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ドアに衣類が挟まつたまま洗濯しない ドアパッキンの破損及び水もれや衣類が破れる原因になります。 ドアが破損したときは使用しない 水もれして周囲の汚損の原因になったり、けがの原因になります。 ドアに乗らない ドアを上から押さない ドアのヒンジ部分に触れない 事故やけがの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 運転中に糸くずフィルターを取り外さない 水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 衣類の洗濯以外に使用しない 業務など家庭用以外に使用しない 本製品は家庭用の衣類用洗濯機として設計されています。業務用や衣類以外に使用すると、火災などの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 給湯器に接続しない 50°C以上のお湯が出る給水栓を使用しない プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥運転中や乾燥運転終了直後は、ドラムやドア周辺の金属部、本体右上部、洗濯物(ファスナーや金属ボタン)に触らない やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 床近傍の給水栓に接続しない 給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

使用上の注意

- ・本体に洗剤や柔軟剤が付いたときは、すぐに絞ったタオルなどで拭き取ってください。
印字のはがれやプラスチック部分の傷み、金属部の腐食などの原因になります。特に濃縮液体洗剤がプラスチック部分に付くと、プラスチックが割れことがあります。
- ・使用後は万一の水もれを防止するために、給水栓を閉めてください。
- ・使用前に給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。
- ・洗剤を入れすぎないでください。
すすぎが不十分になったり、泡があふれて周囲をぬらす原因になります。
- ・洗濯物を入れすぎないでください。
シワや乾燥むらの原因になります。
- ・ラジオやテレビの近くに据え付けしないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- ・スピーカーや IH 調理器(電磁調理器)など磁気の出る機器の近くには据え付けないでください。
- ・洗濯機の上にものを載せないでください。
振動で落下することがあります。
- ・洗濯機の上に磁気を帯びたものを載せないでください。
正常に動作しないことがあります。
- ・ドアロック中は、ドアを無理に開けないでください。
- ・衣類を出し入れするときに、ドアやドアパッキンに無理な力を加えないでください。
破損して水もれなどの原因になります。
- ・糸くずフィルター・乾燥フィルター・内部フィルターは定期的にお手入れしてください。
- ・糸くずフィルター・乾燥フィルター・内部フィルターは必ず取り付けて使用してください。
- ・ドアやドアパッキンの糸くず・髪の毛などを取り除いてください。
水もれやにおいの原因になります。
- ・乾燥運転中は十分に換気をしてください。
換気が不十分な場合、壁や窓などが結露するおそれがあります。
- ・糸くずを本体の周りに蓄積させないように、本体表面を絞ったタオルで定期的にお手入れしてください。。
- ・ドアを閉めるときに衣類を挟まないでください。
水もれや衣類が破れる原因になります。

－廃棄について

- ・製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

－銀イオンカートリッジについて

- ・洗濯水・すすぎ水に銀イオンを溶出することにより、洗濯物を部屋干ししたときに、雑菌の繁殖を抑えて、においの発生を抑えます。
- ・銀イオンカートリッジの交換時期は、約2年です。
- ・効果が低下してくると、**Ag⁺**アイコンが点滅します。
Ag⁺アイコンが点滅したら、別売品の交換用銀イオンカートリッジをお買い求めのうえ、交換してください。(→[銀イオンカートリッジの交換 P111](#))

別売品

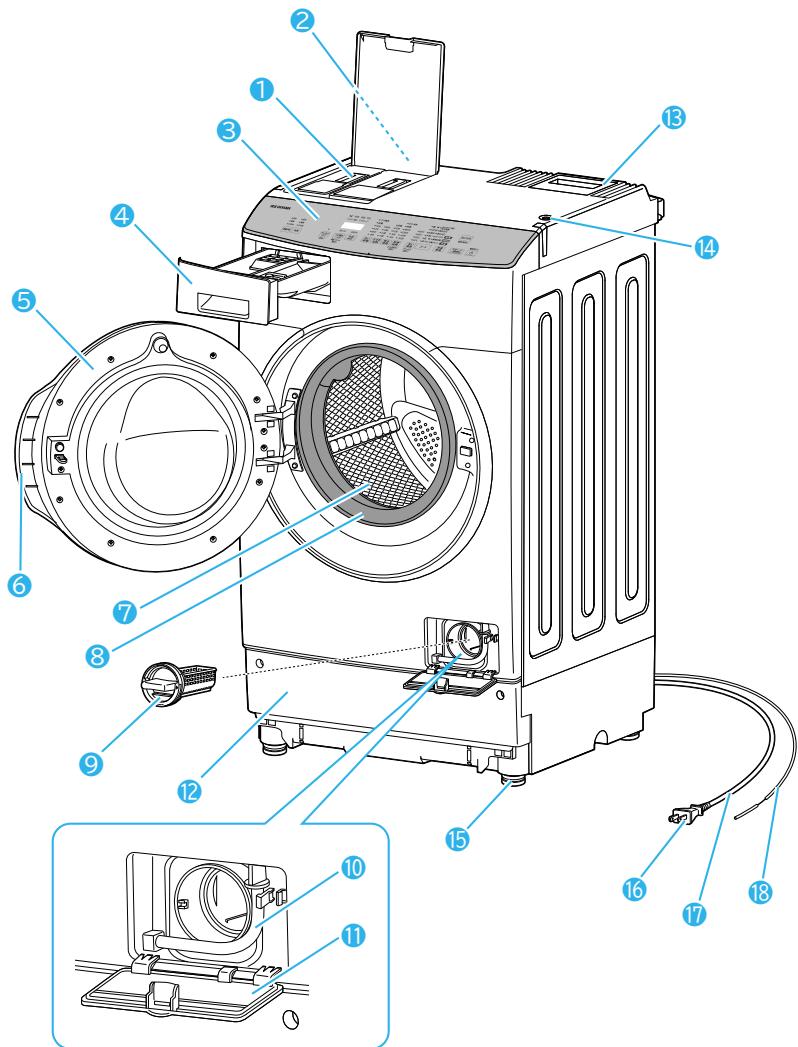
交換用銀イオンカートリッジ C-AG1



※別売の消耗品は、お買い上げの販売店、またはアイリスオーヤマ公式通販サイト(アイリスプラザ <http://www.irisplaza.co.jp>)で当社純正品をお買い求めください。

各部の名称

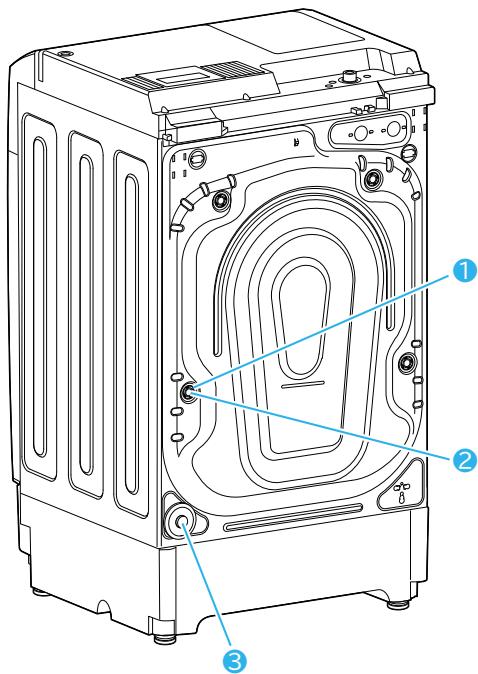
前面



- ① 自動投入部(→自動投入部 P18、自動投入機能について P43)
- ② 給水ホース接続口
- ③ 操作パネル(→操作パネル P16)
- ④ 手動洗剤投入ケース(→手動洗剤投入ケース P19、洗剤の入れかた(手動投入 P49))
- ⑤ ドア
- ⑥ ドア取っ手
- ⑦ ドラム
- ⑧ ドアパッキン
- ⑨ 糸くずフィルター
- ⑩ 水抜きホース
- ⑪ 糸くずフィルターカバー

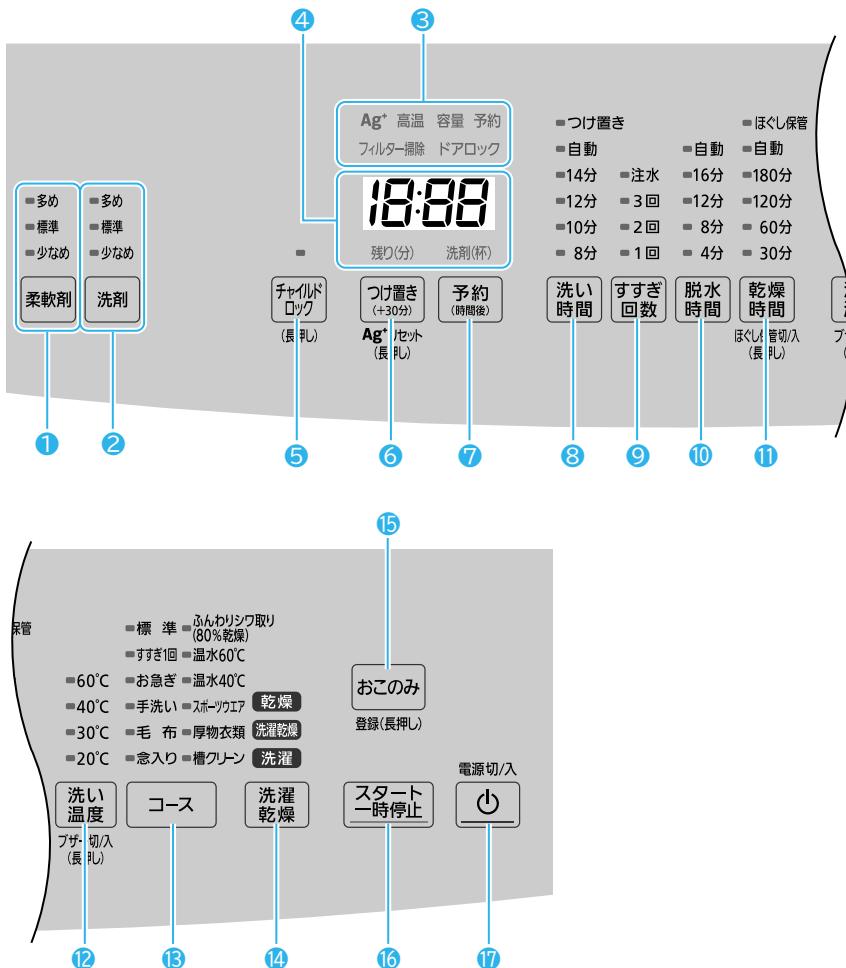
- ⑫ 前面パネル
- ⑬ 乾燥フィルター・内部フィルター(→乾燥フィルター・内部フィルター P20)
- ⑭ 水準器
- ⑮ 調節脚
- ⑯ 電源プラグ
- ⑰ 電源コード
- ⑯ アース線

—背面



- ① 輸送用固定ねじ穴キャップ
- ② 輸送用固定ねじ穴
- ③ 排水ホース接続口

操作パネル



① 柔軟剤ボタン・ランプ

自動投入時の柔軟剤量を設定することができます。

ボタンを長押しで基準量設定モード(柔軟剤)に入ります。

② 洗剤ボタン・ランプ

自動投入時の洗剤量を設定することができます。

ボタンを長押しで基準量設定モード(洗剤)に入ります。

③ お知らせランプ

Ag ⁺	銀イオンカートリッジの効果が低下すると点滅します。交換してください。
高温	乾燥運転中や乾燥運転後、ドラム内が高温になると点灯します。 クールダウン運転中は点滅します。
容量	洗濯～乾燥運転時に標準乾燥容量(4kg)をオーバーすると点滅します。
予約	予約設定時に点灯します。
フィルター掃除	乾燥運転終了後に点灯します。 お手入れしてください。
ドアロック	点灯している間、ドアは開きません。

④ 表示部

残り時間(目安)や予約時間、お知らせ表示(→[お知らせ表示が出たら P117](#))などを表示します。

⑤ チャイルドロックボタン・ランプ

ボタンを長押しすると、チャイルドロックをかけることができます。

⑥ つけ置きボタン

つけ置きを設定できます。

⑦ 予約ボタン

運転終了時間を予約できます。

⑧ 洗い時間ボタン・ランプ

洗い時間を変更できます。

⑨ すすぎ回数ボタン・ランプ

すすぎ回数とすすぎ方法の変更ができます。

⑩ 脱水時間ボタン・ランプ

脱水時間を変更できます。

⑪ 乾燥時間ボタン・ランプ

乾燥時間を変更できます。

ボタンを長押しでほぐし保管の切／入を設定できます。

⑫ 洗い温度ボタン・ランプ

洗い温度を変更できます。

ボタンを長押しでブザーの切／入を設定できます。

⑬ コースボタン

運転内容に合ったコース設定ができます。

⑭ 洗濯乾燥ボタン

洗濯・洗濯～乾燥・乾燥から 運転内容を選択できます。

⑮ おこのみボタン

変更したコース設定の登録・呼び出しができます。

ボタンを長押しで変更した設定をおこのみ登録することができます。

⑯ スタート／一時停止ボタン

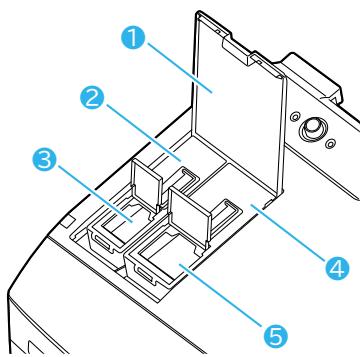
運転の開始、または一時停止ができます。

⑰ 電源切／入ボタン

電源の切／入ができます。

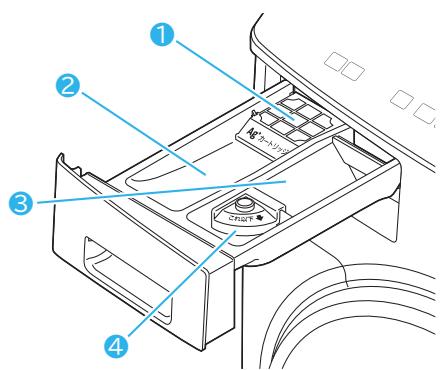
電源を入れて約 30 分以内にスタートをしない場合、自動で電源が切れます。

自動投入部



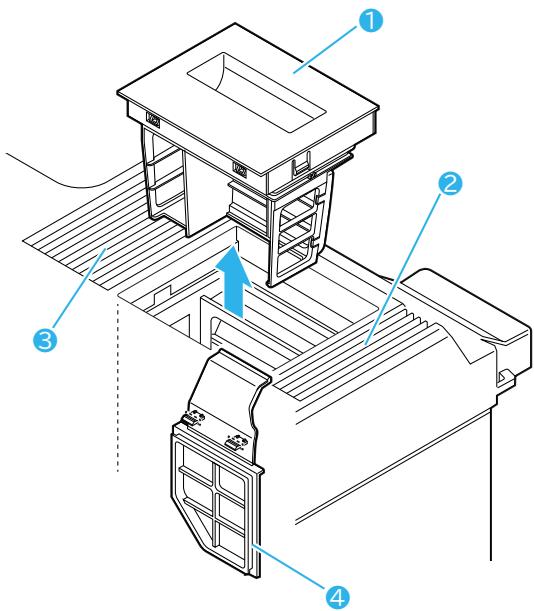
- ① 自動投入部ふた
- ② 柔軟剤タンク
- ③ 柔軟剤投入口
- ④ 液体洗剤タンク
- ⑤ 液体洗剤投入口

手動洗剤投入ケース



- ① 銀イオンカートリッジ
- ② 粉末洗剤・粉末漂白剤投入部
- ③ 液体洗剤・液体漂白剤投入部
- ④ 柔軟剤投入部

乾燥フィルター・内部フィルター



① 乾燥フィルター

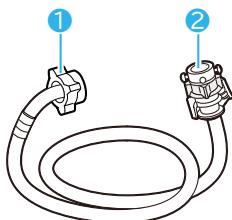
② 排気口

③ 吸気口

④ 内部フィルター

付属品

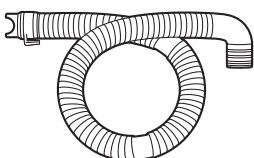
給水ホース



① 給水ナット

② ホース継手

排水ホース



排水ホースクリップ



輸送用固定ねじ穴キャップ×4



・ 輸送用固定ねじ穴キャップの取り外しかた



キャップのスリットにマイナスドライバーを差し込み、固定つめを外してください。

スパナ(輸送用固定ねじ用、調節脚用)



—据え付け業者が据え付け時に取り外してお渡しする付属品

輸送用固定ねじ×4



接続口キャップ



!**お願い**

- ・洗濯機の移動の際に必要になりますので、紛失しないように大切に保管してください。

洗濯・乾燥の流れ

基本的な洗濯・乾燥の流れは次のとおりです。

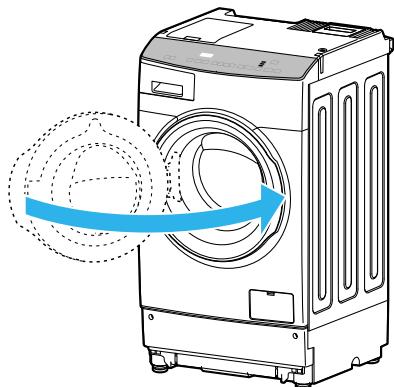
準備

1 運転前の準備と確認をする(→運転前の準備と確認 P31)

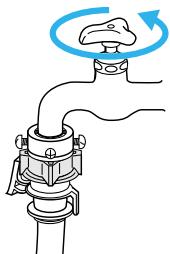
2 洗濯物を確認して入れる

- ・取り扱い絵表示を確認
- ・ポケット内などを確認

3 ドアを閉める



4 給水栓を開ける



- ・乾燥運転のみでも開く



電源を入れて運転内容を選ぶ

1  を押す

**洗濯
乾燥** で洗濯・洗濯乾燥・乾燥のいずれかを選択する

2 乾燥 洗濯 洗濯乾燥

- 運転内容を選択すると、運転内容ごとの設定できるコースが点滅し、標準コースが点灯します。

3 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入機能の設定 P44](#) をする

4 コース で目的に合ったコースを選択する

- 各コースの詳細(→[洗濯コースと設定可能な行程 P50](#))



スタート

**スタート
一時停止** を押す

- 1**
- 洗濯物の計量が開始されます。
※コースによっては洗濯物計量がない場合があります。
 - 自動的にドアロックがかかります。

洗剤量が表示されます

0.8

- 約 20 秒間一時停止します。



手動で洗剤・柔軟剤を入れる(洗濯物の量を調整する)

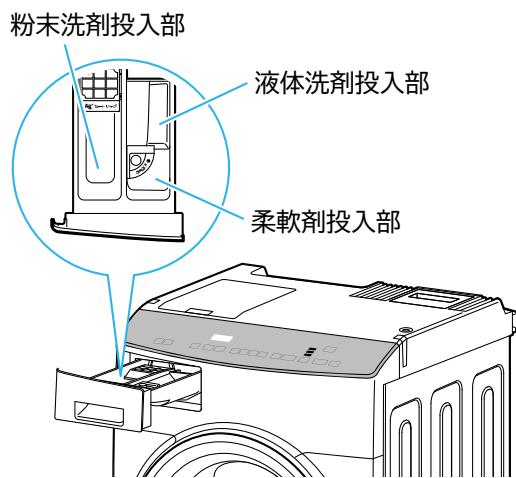
一時停止中に洗剤・柔軟剤を手動投入する場合

適合する洗剤・柔軟剤を表示された洗剤量にしたがって投入する

1 (→[洗剤・柔軟剤・漂白剤について P47](#))

- 乾燥のみの場合、洗剤や柔軟剤は投入しません。

- 容量 が点滅した場合、**スタート
一時停止** を押し、洗濯物の量を調整してください。(→[容量ランプについて P28](#))



一時停止終了後、給水が開始されます

ポイント

2

- ・洗剤を入れる前に給水が始まった場合、**スタート一時停止**を押すと再度一時停止できます。
- ・もう一度**スタート一時停止**を押すと運転が再開されます。



運転

スタートすると、残り時間の目安を表示します

1:50

選択した運転内容・コースによって動作が異なります。



ポイント

- ・運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

■つけ置き	■ほぐし保管
■自動	■自動
■14分	■16分
■12分	■180分
■10分	■3回
■8分	■2回
	■12分
	■8分
	■4分
	■30分

洗い時間 すぎ回数 脱水時間 乾燥時間

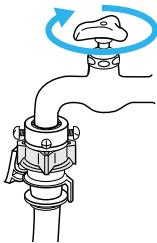


取り出しとお手入れ

運転終了後、洗濯物を取り出す

- 1 ドアロックが解除されます。
- 2 ポイント
- 3 運転終了後はなるべく早めに洗濯物を取り出してください。

給水栓を閉じる



定期的にお手入れする

(→[お手入れについて P96](#))

- 運転終了時間は予約することができます。(→[タイマー予約運転 P90](#))

容量ランプについて

洗濯～乾燥運転時に標準乾燥容量(4kg)をオーバーしていると、洗濯物計量後に(容量表示イラスト)が点滅します。

—容量ランプが点滅したら

1 給水が始まる前に **スタート
一時停止** を押して運転を一時停止する

2 ドアを開き、洗濯物の量を調整する

3 **スタート
一時停止** を押し、運転を再開する

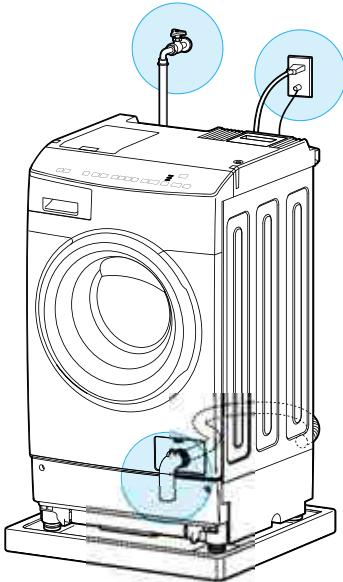
- **容量** が消灯し、洗濯物量計測は再度行われません。

ポイント

- 洗濯物の量を調整せずに運転が継続された場合、給水開始時に **容量** は点滅から点灯に変わります。
- **容量** 点灯時は乾燥時間が長くなり、乾燥できずに終了する場合があります。

据え付け状態の確認

初めて使用するときは、据え付け状態の確認をしてください。また、定期的に、据え付け状態に異常がないか確認してください。



電源コード

- ・電源プラグがコンセントの奥までしっかりと差し込まれているか
- ・アースが接続されているか

排水ホース

- ・確実に排水口に取り付けられているか
- ・排水が止まらないように高さ 10cm 以内に収まっているか
- ・排水ホースが脚などに挟まっていないか

給水ホース

- ・給水栓(蛇口)は、ニップル付き給水栓を使用して、ロックレバーが給水栓のつばに確実にかかっているか
- ・付属の継手を使用している場合は、傾き、すき間や水もれがないか
- ・本体の接続は、給水ナットを最後まで確実に締めてあるか
- ・接続部分にゆるみやがたつきがないか
- ・給水栓(蛇口)にさびは発生していないか

輸送用固定ねじ

- ・輸送用固定ねじは外されているか

本体

- ・ 水平に設置されているか
- ・ がたつきはないか
- ・ 排水ホースや給水ホース、給水栓(蛇口)を圧迫していないか

運転前の準備と確認

—洗濯も乾燥もできないもの

洗濯物の縮み・形くずれ・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

・以下の洗濯絵表示のあるもの

	家庭での水洗いはできない または洗濯処理はできない
 (F)	石油系ドライクリーニング

- ・取り扱い絵表示や素材表示のないもの
- ・皮革・毛皮・羽などが使われている製品
- ・和服・和装小物
- ・ネクタイ・スーツ・コート
- ・レーヨン・キュプラおよびそれらの混紡が使われている製品
- ・絹製品
- ・ベルベットなどのパイル地製品
- ・強燃糸(強くよじった糸)を使用した製品(ウール・ちりめんなど)
- ・毛 100%または毛足 10mm 以上の毛布やカーペットカバー
- ・くつ
- ・コーティング加工・樹脂加工・エンボス加工をした製品

厚手のタオル地の衣類や、柔道着などは、うまく脱水できないことがあります。単独での洗濯ではなく、複数枚での洗濯や、他の衣類と一緒に洗濯をしてください。

—脱水できないもの

脱水時の異常振動などにより、衣類の傷みや洗濯機の破損の原因になります。

- ・防水性製品(洗濯できる表示があっても洗わない)
- ・裏面にゴムの付いているもの、毛足の長いもの、厚手のもの(玄関マット・ラグマット・敷物など)
- ・カーペット
- ・座ぶとん・まくら・クッションなど
- ・ペットなどの毛が多量に付着したもの
- ・市販の洗濯補助具(洗濯ボール・ごみ取りフィルターなど)

— 乾燥ができないもの

洗濯物の縮み・しわつき・変色・損傷・風合いの劣化などのおそれがあります。

- 以下の取り扱い絵表示のあるもの

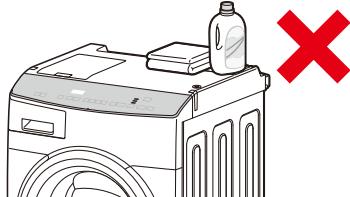
	パークロロエチレン及び石油系溶剤によるドライクリーニングが可能
	つり干しがよい
	底面温度 110°C 限度のスチームなしでアイロン掛けするのが良い
	アイロン仕上げ禁止
	タンブル乾燥禁止

- ゴムやウレタンなどを使用した製品
- 中にスポンジ類(ウレタンなど)が入っているぬいぐるみなど
- 綿が使われているふとんなどの製品
- ウールなど獣毛及びそれらの混紡が使われている製品
- タイツ
- レースや刺しゅうなど飾りや付属品がある製品
- 濃い色でプリントされているもの
- 油がついたもの
- 植物油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、美容オイル、灯油、ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールがついた洗濯物や樹脂(セルロース系)などがついたもの
- ポリプロピレン繊維の製品
- のりづけしたもの
- ペットなどの毛が付着したもの

乾燥前の注意

トラブルの原因となりますので、乾燥運転時には次の点をお守りください。

- ・乾燥できないものを乾燥させない。
- ・排気口、吸気口をものでふさがない。



- ・十分に換気をする。(窓や壁が結露するおそれ)
- ・乾燥フィルターは乾燥運転後に毎回、内部フィルターは  表示を目安にお手入れする。(→[乾燥フィルター・内部フィルター P106](#))
- ・必ず乾燥フィルターと内部フィルターを取り付ける。

乾燥によるシワや縮みを防止したいときは次のことをお試しください。

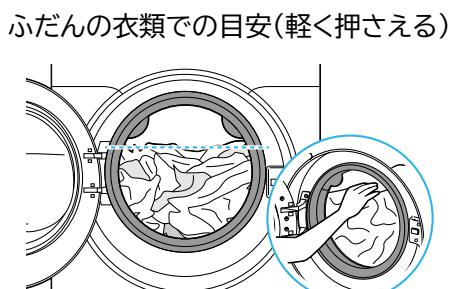
- ・衣類に合わせて乾燥具合を調整する。
- ・脱水終了時に一旦取り出し、脱水時についたシワを伸ばしてから乾燥させる。
- ・綿のズボンやシーツなどは、ふんわりシワ取り(80%乾燥)コースで運転後、シワを伸ばしてから、つり干しする。
- ・乾きやすい素材のもの(化繊など)は、乾燥が終了したら早めに取り出す。

※乾燥で縮みやすい素材は次のものがあります。

- 綿、麻、絹、ウール、レーヨンなど (これらを使用したニットは特に縮みやすい)
- ナイロン、ポリウレタン

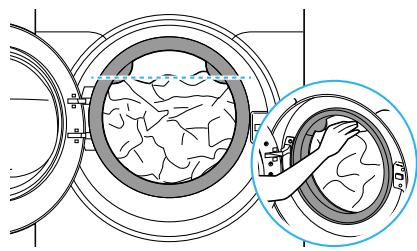
乾燥時の最大容量をお守りください。

- ・コースごとに乾燥できる最大容量は異なります。各コースをご確認ください。
- ・洗濯物の量が最大容量よりも多い場合、乾燥時間が長くなり、乾燥できずに終了するなどの原因となります。
- ・乾燥できる衣類の目安(4kg)は以下を参考にしてください。目安を見るときは、洗濯物を乾いた状態で軽く押さえてください。



ふだんの衣類での目安(軽く押さえる)

タオル(軽く押さえる)

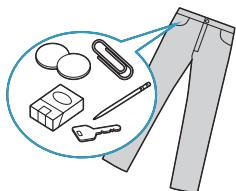


洗濯物の確認

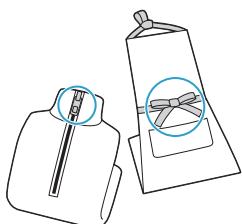
※洗濯の際は、洗濯物の取り扱い絵表示を確認してください。

洗濯物の傷みや排水経路のつまりの原因になりますので、洗濯物の確認を必ず行ってください。

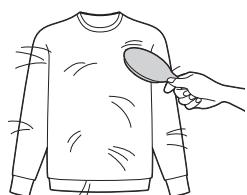
ポケットの中のもの(硬貨・ねじ・ヘアピン・くぎ・つまようじ・砂など)は取り除く
カーテンのフックは取り外す



ひもなどは結び、ファスナー・面ファスナーは閉め、ボタンはとめる



髪の毛・動物の毛・泥・砂などはブラシで落とす



起毛素材(コーデュロイなど)・毛玉のできやすいセーター・特殊印刷のあるTシャツなどは裏返す



- ・摩擦やかくはんなどで表面が傷みやすい製品は、裏返すか洗濯用ネットに入れてください。

洗濯物の仕分け

色落ちや糸くずを防止するために、分けて洗濯をしてください。

・ 色の濃いものを分ける

色の濃いものは、洗濯物の目立たない部分で、白いタオルなどに洗剤液を含ませて押しつけ、色落ちしないか確認してください。

色落ちするものは、色ごとに分けて洗ってください。

※温水(60°C・40°C)コースでは特に色が落ちやすくなる場合があります。

・ 糸くずが出やすいものと、目立つものを分ける

タオルなどは、糸くずが出やすいので分けて洗ってください。

コーデュロイや色の濃いものなど、糸くずが目立つものは、糸くずが出やすいものと分けるか、市販の糸くず防止ネットに入れて洗ってください。

傷みや洗い残しを防止するため、次の洗濯物は市販の洗濯用ネットに入れてください。

・ 小物衣類(乳幼児のくつ下、ハンカチなど)

軽い衣類は洗濯中にドア付近に集まりやすいので、洗濯用ネットに入れて洗ってください。そのままだと、洗濯や脱水が十分にできないことがあります。

・ ワイヤー入りのブラジャー

市販のブラジャー専用ネットに入れて洗ってください。

・ レースの付いた製品・フリルや飾りボタンの付いた製品・ストッキングやタイツなど

① お願い

- 洗濯用ネットに入れる量はできるだけ少なくしてください。たくさんの衣類を1つの洗濯用ネットに入れるとき、バランスが取れず脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。
- 洗濯用ネットに入れた洗濯物は、必ずそれ以上の量の他の衣類と一緒にドラムに入れてください。洗濯用ネットに入れたものだけだと、洗濯物が1か所に偏るため脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。ネットに入れた衣類が少量でも、必ず同量以上の衣類を一緒に入れてください。
- 洗濯用ネットに入れた洗濯物は先に入れてください。



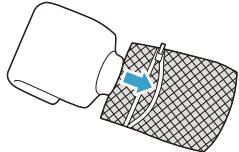
大きなもの(毛布・ふとん・ジーンズ・バスタオルなど)、または洗濯用ネットに入れられないものは洗濯用ネットを使用しないでください

脱水時に異常振動が発生したり、バランスが取れず脱水が停止してしまうことがあります。

—洗濯用ネットの入れかた

1. デリケートな衣類は 洗濯用ネットに入れる

- ・付着しているごみや糸くずを取り除いてください。
- ・汚れた部分(えりやそでなど)が 表に出るように裏返し、1枚ずつ目の粗い市販の洗濯用ネットに入れてください。



2. ドラムの底に平らになるように入れる

洗濯用ネットが1つだけの場合

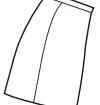
衣類が1か所に固まることによって脱水時の振動が大きくなることを防ぐため、他の衣類も一緒にドラムに入れてください。同時にに入る衣類は、タオルなど糸くずが出やすいものや汚れがあるものは避けてください。

洗濯物の入れかた

洗濯物を入れるときは次の点にご注意ください。

- ・コースによって、洗濯、乾燥できる最大量が決まっています。
最大量を超えないようにしてください。
- ・ジーンズ、バスローブ、トイレマット、綿の厚手のトレーナーなど、厚手のものやかさばるもの1枚だけで入れないでください。
洗濯物が1か所に偏るため、脱水時の振動が大きくなり、停止してしまうことがあります。

衣類の重さ(目安)

		
パジャマ上下 (綿) 約 500g	スカート (混紡) 約 400g	ワイシャツ (混紡) 約 200g
		
アンダーシャツ (綿) 約 130g	シーツ (綿) 約 500g	バスタオル (綿) 約 300g
		
タオル (綿) 約 70g	ブリーフ (綿) 約 50g	くつ下 (混紡) 約 50g

※素材によって重さは異なります。

※乾燥最大容量の目安は、「乾燥前の注意」を参照してください。

ポイント

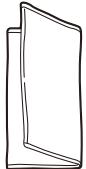
- ・洗濯物を入れすぎるとドラム内で洗濯物がよく動かず、洗浄力が低下することがあります。
洗濯物の量が多いと感じたときは、1回の洗濯物の量を少なめにして、ドラム内で洗濯物がよく動くように調整してください。

—毛布やふとんの入れかた

毛布やふとんを洗濯機へ入れるときは次のように折りたたんで入れてください。

- ・付着しているごみや糸くずを取り除いてください。

毛布



1. 縦に4つ折り



2. 横に屏風折り



※ドラムに入る大きさに折る。

ふとん



1. 縦に3つ折り



2. 横に屏風折り



※ドラムに入る大きさに折る。

洗濯物の量の目安

毛布 2kg:折りたたんで、ドラムの 1/3 以下

ふとん 1kg:折りたたんで、ドラムの 1/2 以下

※ドラムの半分以上を占めるような、かさのあるものは、2kg 以内でも洗えません。

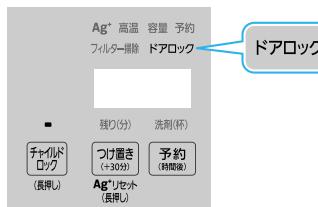
(!) お願い

- ・洗濯機用毛布洗いネットは使用しないでください。脱水時にバランスを崩し、途中で停止します。
- ・2枚以上同時に入れないでください。

ドアロック・チャイルドロック

ドアロックについて

ドアロックの状態は、操作パネルのドアロックランプで確認できます。



スタート
一時停止

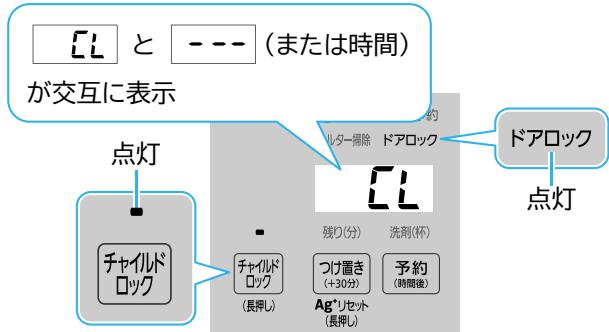
- 運転中にドアを開けたい場合は、**スタート一時停止**を押すと、一時停止後ドアロックが解除されます。

チャイルドロックについて

子どもの事故防止のため、チャイルドロックをかけられます。

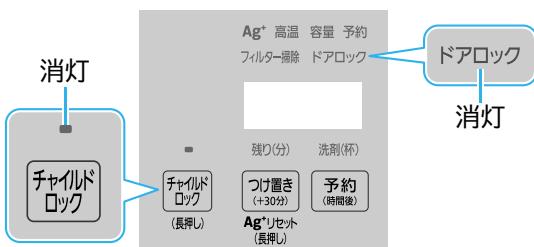
チャイルド
ロック

を3秒以上押すと、チャイルドロックモードの入／切が切り替わります。



- チャイルドロックをかけると、電源の切／入とチャイルドロックの解除以外の操作はできなくなります。
(ドアロックもかかります)

解除時



- チャイルドロックがかかった状態で電源を入れると、表示部に **CL** と **---** が交互に表示され、チャイルドロックランプが点灯します。
- 洗濯中に解除した場合、ドアロックは継続するため **ドアロック** は点灯したままで。

—ドアが開かないときは

水量が多い場合

排水のみで運転を実施してください。(→[個別運転設定表 P84](#))

約1分～2分後にドアが開く水位になるので、停止してドアを開けてください。

ドラム内が高温の場合(クールダウン運転の実施中)

電源を入れたときや一時停止時に、ドラムが高温の場合、ドラム内に風を送り、ドラムの温度を下げるクールダウン運転を約10分～20分実施します。

- ・安全のためドラム内の温度が下がるまでドアロックは解除されません。

ポイント

- ・乾燥中にドラム内が高温になると、操作パネルの **高温** が点灯します。
クールダウン運転中は点滅し、操作パネルに **[d]** が表示されます。
ドラム温度が下がると、**高温** と **ドアロック** は消灯し、ドアロックが解除されます。

自動投入機能について

洗濯のたびに、使用する水の量に合わせて自動的に液体洗剤・柔軟剤を投入します。

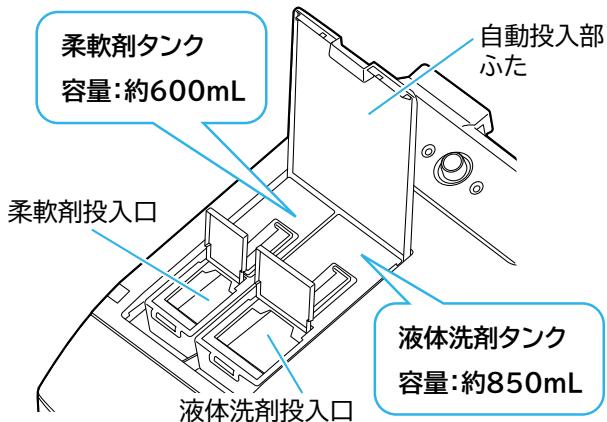
設定を手動投入に切り替えないかぎり、自動で洗剤・柔軟剤を投入します。

○ 使える洗剤・柔軟剤
液体洗剤、液体柔軟剤
✗ 使えない洗剤・柔軟剤
粉石けん、粉末合成洗剤、ジェルボール型洗剤、ビーズ状仕上げ剤

洗剤・柔軟剤の入れかた

液体洗剤タンク・柔軟剤タンクのふたを開けて補充する

- タンクは必ず挿入した状態で補充してください。



- 漂白剤は目安量を運転開始時に手動洗剤投入ケースに投入してください。
漂白剤は自動投入できません。(→洗剤・柔軟剤・漂白剤について P47)

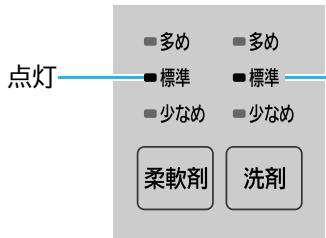
!! お願い

- 固まつたり、分離するなど変質した洗剤や柔軟剤は使わないでください。
- 部(液体洗剤タンク・柔軟剤タンク)、経路のお手入れをしてください。(→液体洗剤タンク・柔軟剤タンク P97)
次のような場合はお手入れをしてください。
 - 3か月に1回
 - 洗剤・柔軟剤の交換時
 - 自動投入機能を1か月以上使わなかったとき
- 自動投入部ふたを開けたまま運転すると、液体洗剤タンク・柔軟剤タンクの位置がずれて、正しく投入されないことがあります。ふたは閉めて運転してください。

ー 自動投入機能の設定方法

自動投入機能のオン・オフ／洗剤・柔軟剤の投入量を変えたいとき

- お買い上げ時は、自動投入機能がオフになっています。



- 1 洗剤 または 柔軟剤 を押して、ランプを点灯させる
 - それぞれの自動投入機能がオンになります。
- 2 再度 洗剤 または 柔軟剤 を押して、投入量を変更する
 - ボタンを押すたびに、標準→多め→少なめ→消灯(自動投入機能オフ)→と切り替わり、投入量を変更できます。

※自動投入で使用できない液体洗剤や粉末洗剤などを手動で投入する際にはランプを消灯させて、自動投入機能をオフにしてください。

ー 洗剤・柔軟剤タンクの残量が少なくなったとき

- 洗剤・柔軟剤の残量が少ないとき、現在の投入量に設定されている量のランプが点滅します。ランプが点滅したら、早めに洗剤・柔軟剤を補充してください。



(!) お願い

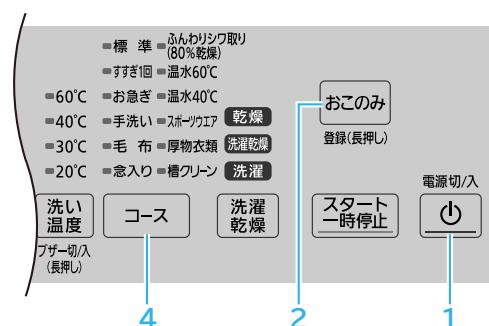
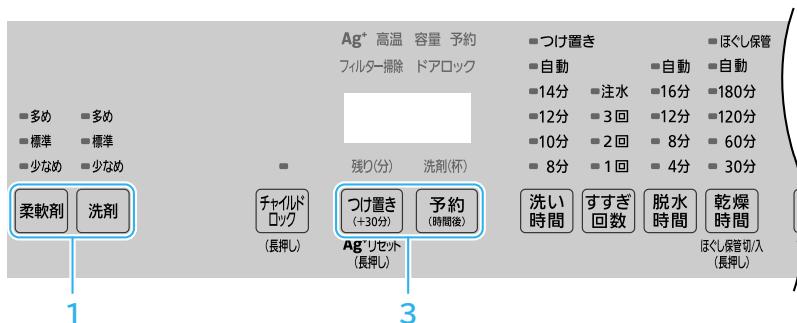
- タンクの中に洗剤や柔軟剤が残っている状態で、別の銘柄の洗剤・柔軟剤を追加しないでください。

基準量を設定する

初めて自動投入を使用する場合や、洗剤・柔軟剤の銘柄を替えた場合に基準量の設定が必要です。

水 30L に対する洗剤・柔軟剤の投入量の設定を行います。

- ・ 使用する洗剤・柔軟剤の銘柄を変えるたびに設定が必要です。
- ・ 洗剤・柔軟剤の投入量は、洗剤・柔軟剤ボトルに記載の「水 30L に対する使用量」をご確認ください。



1 電源を入れ、**洗剤** (洗剤を設定するとき)または**柔軟剤** (柔軟剤を設定するとき)を長押しする

- ・ 基準量設定モードに入り、洗剤ランプまたは柔軟剤ランプが点滅します。

2 **おこのみ** を押して現在の基準量設定をお知らせ表示に表示する

3 **つけ置き (+30分)** または **予約 (時間後)** を押して基準量(mL)を設定する



お知らせ表示に表示されている基準量(mL)を調整してください。

予約 (時間後) を押すと(+1)、**つけ置き (+30分)** を押すと(-1)で増減します。

※基準量は3~30の範囲で設定できます。

コースを押して、基準量を保存する

4

- 途中で操作を終了する場合は  を押してください。
- 途中で操作を終了すると、基準量は変更されません。

洗剤・柔軟剤・漂白剤について

泡立ちの良い洗剤や軽い汚れの場合は少なめに入れる。

洗剤は入れすぎない。

使える洗剤・柔軟剤
○ 粉末合成洗剤、液体洗剤、液体石けん、液体柔軟剤

使えない洗剤・柔軟剤
✗ 粉石けん ※水もれの原因

各コースの注意点

コース	洗剤	柔軟剤	漂白剤
標準	○	○	○
すすぎ 1 回	すすぎ 1 回用洗剤	○	○
お急ぎ	すすぎ 1 回用洗剤	○	○
手洗い	液体中性洗剤	○	✗
毛布	液体洗剤	○	○
念入り	○	○	○
ふんわりシワ取り (80%乾燥)	○	○	○
温水(60℃、40℃)	すすぎ 1 回用洗剤	○	○
スポーツウェア	すすぎ 1 回用洗剤	○	○
厚物衣類	○	○	○

洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量

洗剤量の表示	衣類の目安量	洗剤・柔軟剤・漂白剤のタイプ 水 30L あたりの必要量	合成洗剤					
			粉末		液体液体			液体中性
1.0 杯	~8kg	洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安	20g／30L	25g／30L	10mL／30L	20mL／30L	25mL／30L	40mL／30L
0.9 杯	~6kg		43g	54g	22mL	43mL	54mL	40mL
0.8 杯	~4kg		40g	50g	20mL	40mL	50mL	37mL
0.6 杯	~2kg		37g	46g	19mL	37mL	46mL	30mL
0.4 杯	~1kg		28g	35g	14mL	28mL	35mL	25mL
			18g	23g	9mL	18mL	23mL	21mL
洗剤量の表示	衣類の目安量	洗剤・柔軟剤・漂白剤のタイプ 水 30L あたりの必要量	柔軟剤				酸素系液体漂白剤	
			濃縮		普通	濃縮	液体中性	
1.0 杯	~8kg	洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安	4mL／30L	7mL／30L	10mL／30L	20mL／30L	20mL／30L	40mL／30L
0.9 杯	~6kg		11mL	18mL	27mL	54mL	23mL	46mL
0.8 杯	~4kg		10mL	17mL	25mL	50mL	20mL	40mL
0.6 杯	~2kg		9mL	15mL	22mL	44mL	18mL	36mL
0.4 杯	~1kg		8mL	13mL	19mL	38mL	15mL	30mL
			5mL	8mL	12mL	23mL	10mL	20mL

- 温水(60℃・40℃)コース、すすぎ 1 回コース、お急ぎコース、スポーツウェアコースでは、すすぎ 1 回用洗剤を使用してください。

- ・毛布コースでは、液体洗剤を使用してください。
- ・手洗いコースでは、液体中性洗剤を使用してください。槽クリーンコースを洗い温度 40°C、60°Cで設定した場合や手洗いコースでは、漂白剤は使用しないでください。

一漂白剤について

- ・自動投入設定時に漂白剤を使用するときは、目安量を運転開始時に手動洗剤投入ケースに入れてください。
- ・塩素系漂白剤は槽クリーンコースでのみ使用してください。(→[ドラム\(槽クリーンコース\) P108](#))
- ・槽クリーンコースを洗い温度 40°C、60°Cで設定した場合、塩素系漂白剤を使用しないでください。
- ・槽クリーンコースでは酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。泡が大量に発生し、機器が故障するおそれがあります。
- ・予約運転をするときは、塩素系漂白剤を使用しないでください。(金属の腐食、故障のおそれがあります。)
- ・ご使用の前に、漂白剤の容器に記載の注意書きをよく確認してください。

分類			使えるもの	使えないもの
酸化型	塩素系	液体	槽クリーンコースでのみ 使用できます	—
	酸素系	粉末	水洗いできる白もの、色 柄もの	水洗いできないもの、毛、 絹、金属製ボタン・ファスナ —
		液体		水洗いできないもの、金属 製ボタン・ファスナー
還元型		粉末	水洗いできる白もの	水洗いできないもの、色柄 もの、金属製ボタン・ファス ナー

一 洗剤の入れかた(手動投入)

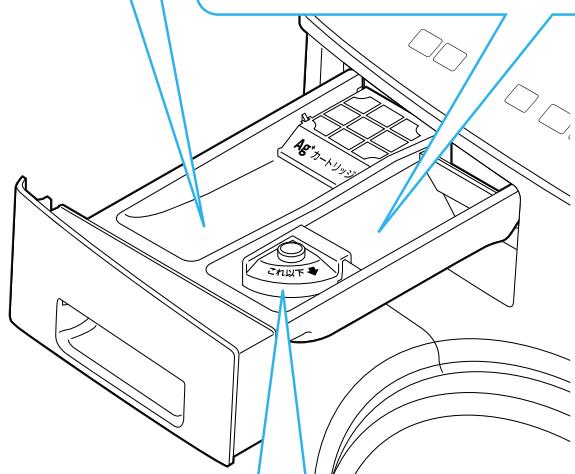
手動洗剤投入ケースを引き出し、表示部に表示された洗剤・柔軟剤・漂白剤量にもとづいて、[洗剤・柔軟剤・漂白剤の目安量P47](#)を参考に、手動洗剤投入ケースに入れてください。

粉末洗剤

- 粉石けんは使用できません。
- 泡立ちの良い洗剤や汚れが軽いときは、「少なめ」に入れる。
- 洗剤は入れすぎない。

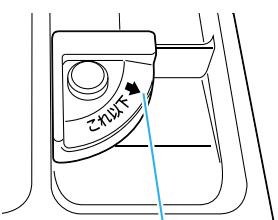
液体洗剤・漂白剤

- 漂白剤は洗剤と一緒に投入部に入れる。
- 泡立ちの良い洗剤や汚れが軽いときは、「少なめ」に入れる。
- 洗剤は入れすぎない。



柔軟剤

- ※ 低温になる場所での保管を避けてください。(種類によっては、低温などの影響で固まってしまうものがあるため)
- ※ 固まった柔軟剤は、必ず水やぬるま湯でよく溶かした後、使用してください。



「これ以下」と示している線を越えないように入れてください。

※ 液体洗剤・液体漂白剤投入部と柔軟剤投入部は、構造上、水などの液体が残ることがあります、異常ではありません。

(!) お願い

- ・ ジェルボール型洗剤について
水もれなどの原因となるため、手動洗剤投入ケースに入れないでください。
容器に記載されている内容を確認して使用してください。タイマー予約運転では使用できません。

取り扱い方

洗濯コースと設定可能な行程

コース	設定できる運転内容 (運転可能な最大容量)			追加可能な機能		予約	洗剤量表示
	洗濯のみ	洗濯乾燥	乾燥のみ	つけ置き	ほぐし保管		
標準	8.0kgまで	4.0kgまで	4.0kgまで	○	○※1	○※2	○
すすぎ1回	5.0kgまで	4.0kgまで	×	×	○※1	○	○
お急ぎ	2.0kgまで	×	×	×	×	×	○
手洗い	1.0kgまで	×	×	×	×	○	×
毛布	毛布 2.0kg・夏掛けふとん 1.0kgまで			○	×	○※2	○
念入り	4.0kgまで	×	×	○	×	○	○
ふんわりシワ取り (80%乾燥)	×	3.0kgまで	×	○	×	×	○
温水 60℃	2.0kgまで	2.0kgまで	×	○	○※1	○	○
温水 40℃	4.0kgまで	4.0kgまで	×	○	○※1	○	○
スポーツウェア	化繊 1.0kgまで	化繊 1.0kgまで	×	×	×	○	×
厚物衣類	×	3.0kgまで	3.0kgまで	○	○	○※2	○
槽クリーン	○	○	○	×	×	○※2	×

※1「洗濯のみ」では設定できません。

※2「乾燥のみ」では設定できません。

コース	設定可能な行程と範囲					目安運転時間※3
	洗い時間	洗い温度	すすぎ回数	脱水時間	乾燥時間	
標準	なし～自動※4	常温～30℃	0回～3回 注水○	なし～16分 ※5	30分～自動	洗濯:51分 洗乾:5時間21分 乾燥:5時間15分
すすぎ1回	8分～自動※4	常温～30℃	1回 注水○	なし～16分 ※5	30分～自動	洗濯:38分 洗乾:5時間8分
お急ぎ	8分～10分	常温	1回～3回 注水○	なし～16分	×	洗濯:26分
手洗い	8分～自動	常温～30℃	1回～3回 注水○	なし～16分	×	洗濯:50分
毛布	10分～自動	常温～40℃	1回～3回 注水○	なし～16分 ※5	120分～自動	洗濯:1時間10分 洗乾:6時間32分 乾燥:5時間45分
念入り	14分～自動	常温～30℃	1回～3回 注水○	なし～16分	×	洗濯:59分
ふんわりシワ取り (80%乾燥)	10分～14分	常温～30℃	1回～3回 注水○	自動	自動	洗乾:2時間16分
温水 60℃	自動	60℃	1回～3回 注水○	なし～16分 ※5	30分～自動	洗濯:2時間15分 洗乾:5時間19分
温水 40℃	自動	30℃～40℃	1回～3回 注水○	なし～16分 ※5	30分～自動	洗濯:1時間45分 洗乾:6時間19分

スポーツウェア	8分～10分	常温	1回 注水×	なし～16分 ※5	30分～120分	洗濯：26分 洗乾：1時間45分
厚物衣類	10分～自動	常温～30℃	1回～3回 注水○	自動	30分～自動	洗乾：5時間26分 乾燥：5時間5分
槽クリーン	自動	常温～30℃	2回 注水×	8分	120分	洗濯：2時間6分 洗乾：4時間11分 乾燥：2時間

※3・洗濯時間は、洗濯する衣類の量によって変わります。また、常温以外で洗濯をするコースは、給水温度によって大幅に洗濯時間が変わることがあります。

・乾燥時間は、衣類の量、給水温度、気温により、大幅に変わることがあります。

※4「洗濯のみ」では8分に設定できません。

※5「洗濯乾燥」は自動のみ設定できます。

洗濯・洗濯～乾燥する

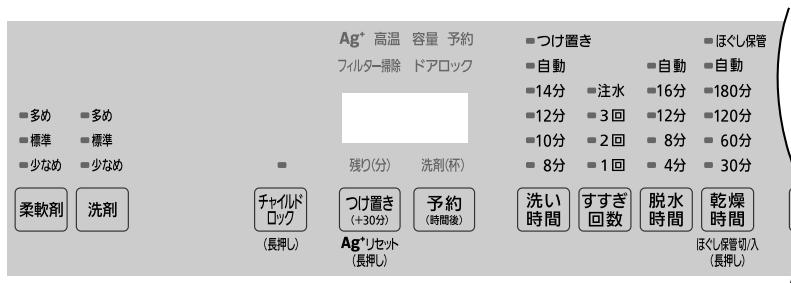
日常的にご使用いただける 4 つのコースで、洗濯のみ、洗濯～乾燥を行うときの手順です。各コースによって選択できる運転内容が異なります。

洗濯のみ・洗濯～乾燥ができるコース	
標準	ふだんのお洗濯
すすぎ 1 回	洗濯時間を短縮させたいとき

洗濯のみできるコース	
お急ぎ	さらに急いで洗濯したいとき
念入り	汚れを丁寧に落としたいとき

乾燥時のご注意

- 乾燥ができないものを乾燥させない。(→運転前の準備と確認 P31)
- 排気口、吸気口をものでふさがない。
- 十分に換気をする。(窓や壁が結露するおそれ)
- 乾燥フィルターは乾燥運転後に毎回、内部フィルターは **bFC** 表示を目安にお手入れする。(→乾燥フィルター・内部フィルター P106)
- 必ず乾燥フィルターと内部フィルターを取り付ける。



準備

- 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)
- 洗濯物を確認して入れる
 - 洗えるもの、乾燥できるものを確認
 - ごみや糸くずを取り除く

コース	洗濯容量	乾燥容量
標準	8kg まで	4kg まで
すすぎ 1 回	5kg まで	4kg まで
お急ぎ	2kg まで	—
念入り	4kg まで	—

3. ドアを閉め、給水栓を開ける



1 ①  を押す

②  で **乾燥** または  を選ぶ

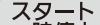
③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う

2 コース  を押してコースを選ぶ

ふたんのお洗濯は標準コースを選んでください。

コース		初期設定					
		計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
標準	洗濯	<input type="radio"/>	14 分	2 回	常温	8 分	×
	洗濯乾燥		10 分			自動	自動
すすぎ 1 回	洗濯	<input type="radio"/>	12 分	1 回	常温	8 分	×
	洗濯乾燥		8 分			自動	自動
お急ぎ	洗濯	<input type="radio"/>	8 分	1 回	常温	4 分	×
念入り	洗濯	<input type="radio"/>	自動	2 回	常温	8 分	×

 スタート

• コースを選ばずに  を押すと標準コースで運転を始めます。

- タオル地の洗濯物は、パイルが寝て、ごわつくことがあります。洗い時間を短くするか、手洗いコースまたはふんわりシワ取り(80%乾燥)コースで洗ってください。
- 衣類に合わせて乾燥時間を使い分けてください。
- 洗い時間など各行程の時間・回数などの変更やつけ置きなどの設定ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))
- 洗い温度を上げるときの注意点(→[コース設定を変更する P79](#))

3  を押す

- ドアロック が点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
- 約 20 秒後、洗剤量が表示され一時停止します。(約 20 秒間)



手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- ・一時停止している間に、洗剤量の表示に合わせて、洗剤を入れてください。
- ・**洗濯乾燥**で運転中に**容量**が点滅したら、給水前に洗濯物を減らしてください。

給水が始まったときは

スタート
一時停止

を押すと一時停止できます。再度押すと給水を再開します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。

4



(!) お願い

すすぎ1回コース・お急ぎコースでは、すすぎ1回用洗剤を使用してください。

※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

- ・運転開始後に各行程(洗い時間など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))
- ・乾燥運転中(**高温**点灯時)にドアを開けたいときは、クールダウン運転終了後まで安全のためドアロックが解除されません。

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

1. 運転が終了すると、表示部に**End**が表示されます。
乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#)を自動で開始します。

※ほぐし保管中に洗濯物を取り出すときは、**スタート
一時停止**または**電源**を押す。

2. **ドアロック**が消灯して、ドアロックが解除されます。
3. 洗濯物を取り出します。
4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- ・洗濯物はシワにならないように、早めに取り出してください。
- ・乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#)が自動で開始しますが、なるべく早めに取り出してください。
- ・[乾燥フィルター P106](#)のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- ・[糸くずフィルター P102](#)のお手入れ(定期的に行う)

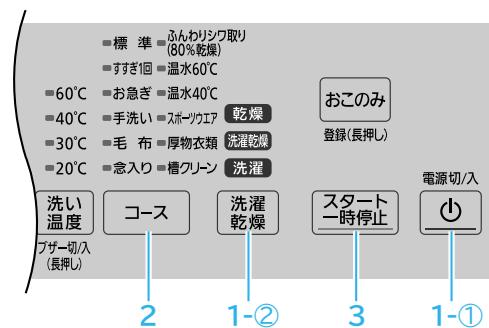
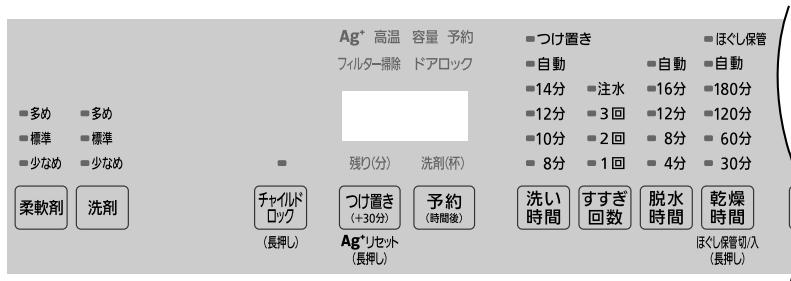
5

乾燥する(乾燥のみを行う場合)

標準コースで乾燥のみを行うときの手順です。

乾燥時のご注意

- 乾燥ができないものを乾燥させない。(→運転前の準備と確認 P31)
- 排気口、吸気口をものでふさがない。
- 十分に換気をする。(窓や壁が結露するおそれ)
- 乾燥フィルターは乾燥運転後に毎回、内部フィルターは **bFC** 表示を目安にお手入れする。(→乾燥フィルター・内部フィルター P106)
- 必ず乾燥フィルターと内部フィルターを取り付ける。



準備

1. 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)

2. 洗濯物を確認して入れる

- 洗えるもの、乾燥できるものを確認
- ごみや糸くずを取り除く

コース	乾燥容量
標準	4kg まで

3. ドアを閉め、給水栓を開ける

※ 乾燥運転前に蒸気の漏れを軽減するために少量の給水を行うため

↓

- 1 ①  を押す
 ②  で  を選ぶ

- 乾燥時の最大容量の目安(→運転前の準備と確認 P31)

2  を押して標準コースを選ぶ

コース		初期設定				
コース	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
標準	乾燥	○	×	×	×	自動

乾燥時間を変更するには

 を押すことで 180 分、120 分、60 分、30 分から選ぶことができます。

- 乾燥時間を自動で運転する場合、設定モードから乾燥具合を調整できます。(→上手な使いかた P93)

3  を押す

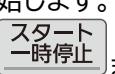
- ドアロック が点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
- 乾燥時間が表示され、乾燥運転が始まります。



- 乾燥運転中( 点灯時)にドアを開けたいときは、クールダウン運転終了後まで安全のためドアロックが解除されません。

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

- 運転が終了すると、表示部に  が表示されます。
 乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) を自動で開始します。

※ほぐし保管中に洗濯物を取り出すときは、 または  を押す。

- ドアロック が消灯して、ドアロックが解除されます。
- 洗濯物を取り出します。
- 給水栓を閉じます。
- 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- 洗濯物はシワにならないように、早めに取り出してください。
- 乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) が自動で開始しますが、なるべく早めに取り出してください。

- ・ [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- ・ [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

乾燥時間の使い分けについて

乾燥時間は衣類に合わせて使い分けると、よりうまく仕上げることができます。

自動:シワが付きにくい衣類の乾燥

30分・60分:シワが付きやすい衣類の乾燥(※運転終了時は、なるべく早めに取り出してつり干してください。)

30分・60分・120分・180分:生乾き、衣類の仕上げ乾燥

各種コースの説明

コースの用途について

ふだんの洗濯・洗濯時間を短縮したいとき・もっと早く洗濯したいとき・汚れが多く、念入りに洗いたいとき

→[標準・すすぎ1回・お急ぎ・念入りコース P52](#)

ウールやレースの付いた製品に

→[手洗いコース P59](#)

ふとんや毛布などの大物洗濯に

→[毛布コース P62](#)

洗濯後のシワを軽減させたりタオルをふんわり仕上げたいとき

→[ふんわりシワ取り\(80%乾燥\)コース P66](#)

綿素材の肌着の除菌をしたいとき・油・皮脂汚れを落としたいとき

→[温水\(60°C・40°C\)コース P69](#)

軽い運動で使用した衣類の短時間での洗濯に

→[スポーツウェアコース P73](#)

トレーナーやパーカーなどの乾きにくい厚物衣類に

→[厚物衣類コース P76](#)

手洗いコース

デリケートな洗濯物が洗えるコースです。運転内容は洗濯のみを選べます。

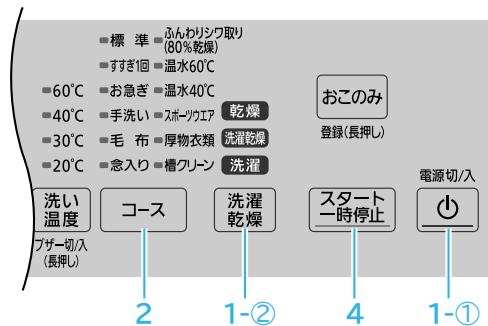
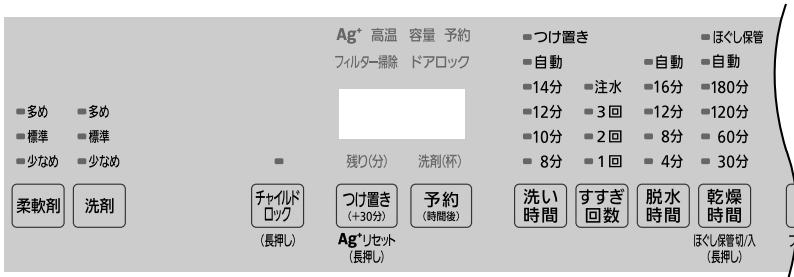
洗えるもの

-  または  の表示があるもの
-  または  、  の表示があるもの
- ウール・アンゴラ・カシミヤのセーター・カーディガンなど
- スラックス・スカート・学生服類
- ブラウス・シャツ・ランジェリー類

※ 上記でも洗えないものがあります。

洗えないもの

- 水につけると、型くずれ・縮み・風合いの低下を起こしやすいもの
- 皮革製品、または皮革・羽・毛皮などの飾りのあるもの
- シルク・レーヨン(ポリノジックを含む)・キュプラ及びその混紡品
※ 裏地に使われているものでも洗わないでください。
- スーツ・ジャケット・コート・ネクタイなど、型くずれしやすいもの
- コーティング・樹脂加工(接着剤を使用したもの)・エンボス加工・シワ加工がほどこされたもの
- ちりめんなどの強撚糸を使用したもの
- 毛布・カーテンなど大きなもの・重いもの
※ 大きなものは毛布コースで洗ってください。
- 防水加工・撥水加工されたもの
- 水で色落ちするもの
- 取り扱い絵表示や素材表示がないもの



※手洗いコースの洗濯物は1枚ずつ洗濯用ネットへ入れてください。

洗濯用ネットへの入れかたは、[洗濯用ネットの入れかた P37](#) を参照してください。

準備

- 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)
- 洗濯物を確認して入れる

- ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量
1kgまで

- ドアを閉め、給水栓を開ける



- ① を押す
- ② で を選ぶ
- ③ 柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う
 - 手洗いコースでは、洗剤の自動投入機能をお使いいただけません。

2 コース を押して手洗いコースを選ぶ

コース	初期設定					
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
手洗い	洗濯	×	10分	3回	常温	4分

・洗い時間など各行程の時間・回数などの変更やつけ置きなどの設定ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))

- ・洗い温度を上げるときの注意点(→[コース設定を変更する P79](#))

洗剤を手動洗剤投入ケースに入れる
柔軟剤を手動投入する場合は、手動投入ケースに入れる
(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

3

!**お願い**

- ・手洗いコースでは漂白剤は入れないでください。
- ・液体中性洗剤を使用してください。

**スタート
一時停止** を押す

- ・**ドアロック** が点灯しドアロックがかかり、給水を開始します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。

4



※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

- ・運転開始後に各行程(洗い時間など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

5

1. 運転が終了すると、表示部に**End**が表示されます。
2. **ドアロック** が消灯して、ドアロックが解除されます。
3. 洗濯物を取り出します。
4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- ・洗濯完了後すぐに取り出し、シワを伸ばすように広げ、風通しのいい日陰で乾かしてください。
- ・[糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

毛布コース

毛布やふとんなどの大物に適したコースです。

洗濯のみできるもの・洗濯も乾燥もできるもの

洗濯のみできるもの

- 手洗イ
 30
 30
 30 の表示があるもの

- 中わたがポリエステル 100%の夏掛けふとん
- 洗濯機で洗えると表示されている羽毛掛けふとん
(シングルサイズ:150×210cm 以下)

※ 上記でも洗えないものがあります。

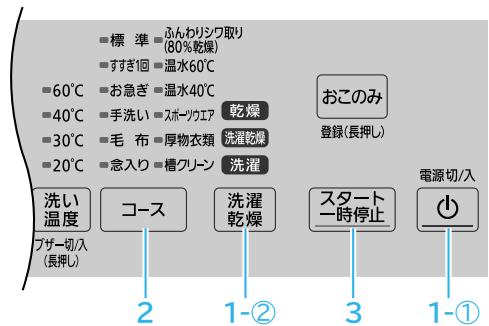
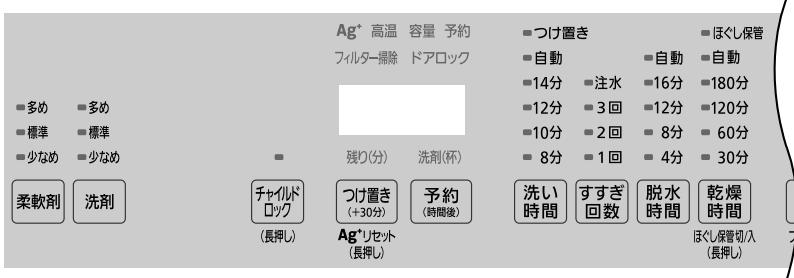
洗濯も乾燥もできるもの

- 合成繊維 100%のマイヤー毛布・タフト毛布・綿毛布
(シングルまたはダブルサイズ:180×200cm 以下)
- 2kg 以下の毛布
- 1kg 以下の中わたがポリエステル 100%の夏掛け ふとん

※ 上記でも洗濯・乾燥ができないものがあります。

洗濯も乾燥もできないもの

- 毛 100%の毛布
- 電気毛布
- ロングパイルの毛布(毛足 1cm 以上)
※ 風合いを損ねるおそれがあります。
- カーペットカバー
※ 洗濯中にドアから水もれするおそれがあります。
- 側生地がタオル地のふとん(毛足 1cm 以上)
※ 乾燥すると縮むおそれがあります。
- 中わたが、ポリエステル・羽毛以外のふとん
- ダブルサイズ以上のふとん
- 取り扱い絵表示や素材表示がないもの



※毛布・ふとんは折りたたんで洗濯機に入れてください。(→毛布やふとんの入れかた P39)

※洗濯キャップは使用しないでください。

※2枚以上同時に入れないでください。

準備

- 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)
- 洗濯物を確認して入れる

- ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量	乾燥容量
2kgまで	2kgまで

※ ふとんの乾燥容量は1kgまで

- ドアを閉め、給水栓を開ける



1 ① を押す

② で **洗濯** **洗濯乾燥** **乾燥** のいずれかを選ぶ

③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う

2 コース を押して毛布コースを選ぶ

コース	初期設定					
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
毛布 洗濯	○	自動	3回	常温	8分	×

洗濯乾燥					自動	
乾燥	○	×	×	×	×	自動

- ・洗い時間など各行程の時間・回数などの変更やつけ置きなどの設定ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))
- ・洗い温度を上げるときの注意点(→[コース設定を変更する P79](#))

**スタート
一時停止** を押す

1. ドアロック が点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
2. 約 20 秒後、洗剤量が表示され一時停止します。(約 20 秒間)



3

※乾燥運転のみの場合は、洗剤量の計量行程はなく、洗剤・柔軟剤も使用しません。

！お願い

毛布コースでは液体洗剤を使用してください。

手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- ・一時停止している間に、洗剤量の表示に合わせて、洗剤を入れてください。
- ※ 乾燥 のときは、洗剤・柔軟剤を使用しません。
- ・ 洗濯乾燥 で運転中に 容量 が点滅したら、給水前に洗濯物を減らしてください。

給水が始まったときは

**スタート
一時停止** を押すと一時停止できます。再度押すと給水を再開します。

4 運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。



※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

※ 洗濯～乾燥運転終了後、乾きむらがある場合、洗濯物を折り返し、再度乾燥運転をしてください。

- ・運転開始後に各行程(洗い時間など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))
- ・乾燥運転中(高温 点灯時)にドアを開けたいときは、クールダウン運転終了後まで安全のためドアロックが解除されません。

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

1. 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。
2. **ドアロック** が消灯して、ドアロックが解除されます。
3. 洗濯物を取り出します。
4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- 乾燥運転をしない場合、終了後、すぐに取り出し、シワを伸ばすように広げ、風通しのいい日陰で乾かしてください。
- 乾燥運転後は、なるべく早めに取り出してください。
- [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

ふんわりシワ取り(80%乾燥)コース

完全に乾燥させずに乾燥運転を終了し、つり干しすることでタオル類をふんわり仕上げられるコースです。シワの付きやすい衣類はシワを少なく仕上げることができます。

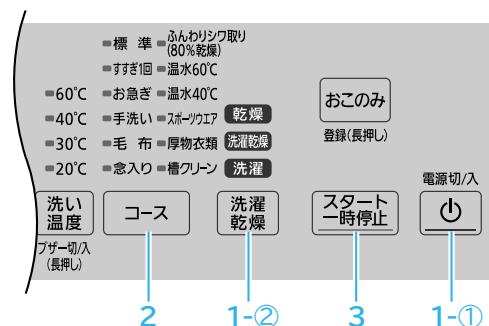
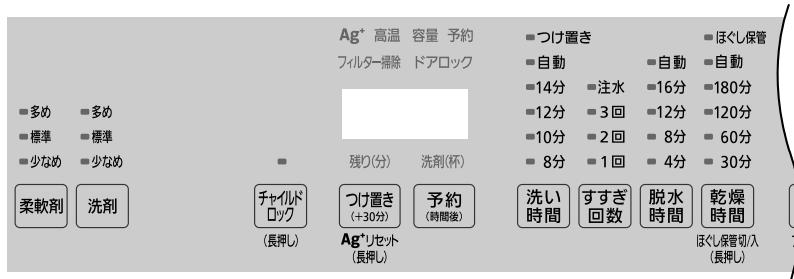
途中まで乾燥運転をするため、洗濯後に乾燥をしていない洗濯物と比べ、ラクに持ち運びができます。また、衣類が温かくなっているため冬場でもつり干し作業がしやすくなります。

洗えるもの・乾燥できるもの

- ・綿系の衣類
- ・シャツ、シーツ、ズボンなど
- ・ふんわり仕上げたいもの
フェイスタオル、バスタオルなどのタオル類
- ・洗濯後、そのまま干すには重たいもの
シーツ、バスタオルなど

洗えないもの・乾燥できないもの

- ・「[洗濯も乾燥もできないもの P31](#)」に記載のもの



準備

1. 運転前の準備をする(→[運転前の準備と確認 P31](#))
2. 洗濯物を確認して入れる
 - ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量	乾燥容量
3kgまで	3kgまで

3. ドアを閉め、給水栓を開ける



1 ①  を押す

②  で  を選ぶ

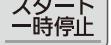
③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う

2 コース

を押して、ふんわりシワ取り(80%乾燥)コースを選ぶ

コース		初期設定					
		計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
ふんわりシワ取り (80%乾燥)	洗濯乾燥	○	10 分	2 回	常温	自動	自動

- ・洗い時間など各行程の時間・回数などの変更やつけ置きなどの設定ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))
- ・洗い温度を上げるときの注意点(→[コース設定を変更する P79](#))
- ・乾燥時間は、自動のみ設定できます。

3  を押す

1. ドアロック が点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
2. 約 20 秒後、洗剤量が表示され一時停止します。(約 20 秒間)



手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- ・一時停止している間に、洗剤量の表示に合わせて、洗剤を入れてください。
- ・運転中に 容量 が点滅したら、給水前に洗濯物を減らしてください。

給水が始まったときは

4

 を押すと一時停止できます。再度押すと給水を再開します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。



※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

- 運転開始後に各行程(洗い時間など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))
- 乾燥運転中(**高温** 点灯時)にドアを開けたいときは、クールダウン運転終了後まで安全のためドアロックが解除されません。

5 運転終了後、洗濯物を取り出してつり干しをし、洗濯機をお手入れする

- 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。
 - ドアロックが消灯して、ドアロックが解除されます。
 - 洗濯物を取り出します。
 - 給水栓を閉じます。
 - 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。
- 運転終了後は、できるだけ早く取り出してシワを広げつり干してください。
 - [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
 - [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

温水(60°C・40°C)コース

温水 60°Cコース:

60°Cの温水で洗濯します。綿素材の除菌などが行えます。においが気になる場合などに使用してください。

温水 40°Cコース:

40°Cの温水で洗濯します。油や皮脂の汚れなどを落とすのに適しています。

洗えるもの

※必ず取り扱い絵表示を確認してください。

温水 60°Cコース

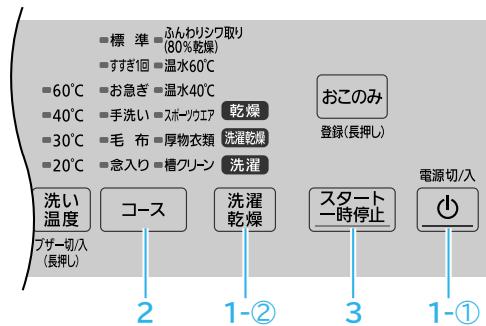
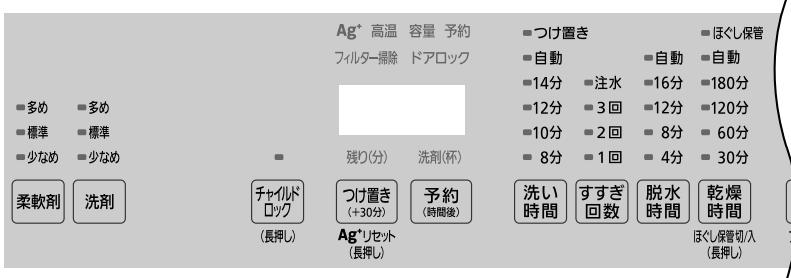
-  または  の表示があるもの
- 60°C以上の温度で洗濯機で洗濯可能な絵表示が付いた衣類(上記絵表示より数字が大きいもの)

温水 40°Cコース

-  または  の表示があるもの
- 40°C以上の温度で洗濯機で洗濯可能な絵表示が付いた衣類(上記絵表示より数字が大きいもの)

洗えないもの

- プリント柄のもの
- 芯材のあるもの
- カーペットカバー・1kg を超える毛布
※ 洗濯中にドアから水もれするおそれがあります。
- ゴム素材を使用した伸縮性のあるもの
取り扱い絵表示や素材表示がないもの
- 色柄もの、色落ちしやすいもの



準備

1. 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)

2. 洗濯物を確認して入れる

- ごみや糸くずを取り除く

コース	洗濯容量	乾燥容量
温水 60°C	2kg まで	2kg まで
温水 40°C	4kg まで	4kg まで

3. ドアを閉め、給水栓を開ける



- ① を押す
- ② で **洗濯** または **洗濯乾燥** を選ぶ
- ③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う

コース を押して温水 60°Cコースまたは温水 40°Cコースを選ぶ

コース	初期設定					
	計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
温水 60°C	○	自動	2回	60°C	8分	×
温水 40°C				40°C		
温水 60°C	○	自動	2回	60°C	自動	自動
温水 40°C				40°C		

- コースの選択後、温水 60°Cコースはすすぎ回数・脱水時間などの設定を、温水 40°Cコースはすすぎ回数・洗い温度・脱水時間などの変更やつけ置きなどの設定ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))
- 洗い温度を上げるときの注意点(→[コース設定を変更する P79](#))

**スタート
一時停止** を押す

- 3 1. ドアロック が点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
2. 約 20 秒後、洗剤量が表示され 一時停止します。(約 20 秒間)



手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- 一時停止している間に、洗剤量の表示に合わせて、洗剤を入れてください。
- 洗濯乾燥 で運転中に 容量 が点滅したら、給水前に洗濯物を減らしてください。

！お願い

すすぎ 1 回コース・お急ぎコースでは、すすぎ 1 回用洗剤を使用してください。

給水が始まったときは

- 4 **スタート
一時停止** を押すと一時停止できます。再度押すと給水を再開します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。



※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

- 運転開始後に各行程(すすぎ回数など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

- 5 1. 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。
乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) を自動で開始します。

※ほぐし保管中に洗濯物を取り出すときは、**スタート
一時停止** または **電源** を押す。

- ドアロック が消灯して、ドアロックが解除されます。
- 洗濯物を取り出します。
- 給水栓を閉じます。
- 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- ・ 乾燥運転しない場合、完了後すぐに取り出し、シワを伸ばすように広げ、風通しのいい日陰で乾かしてください。
- ・ 乾燥運転後は、なるべく早めに取り出してください。
- ・ [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- ・ [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

スポーツウェアコース

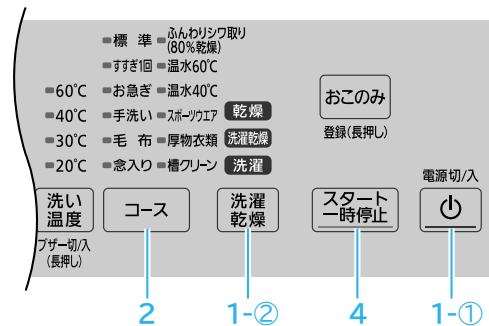
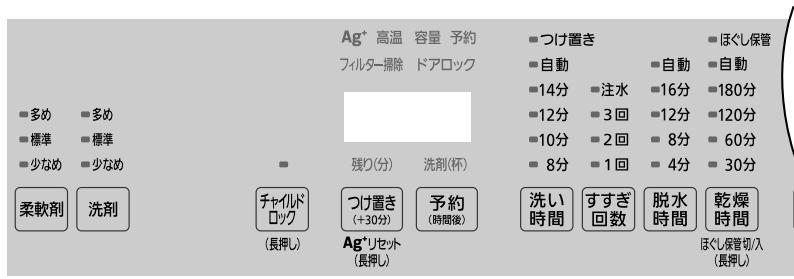
ヨガやウォーキングなど軽い運動で使用したスポーツウェアなどの化学繊維の衣類を短時間で仕上げるのに適したコースです。

スポーツウェアコースが使えるもの

- ・ 化学繊維が 80%以上含まれている衣類
Tシャツ
ズボン
スパッツ
くつ下
スポーツブラ など

スポーツウェアコースが使えないもの

- ・ 汚れの多い洗濯物
- ・ 泥汚れが染みついたスポーツウェア
- ・ 激しい運動で使用したスポーツウェアなど
- ・ 乾きにくい厚物衣類
- ・ 「[洗濯も乾燥もできないもの P31](#)」に記載のもの



準備

1. 運転前の準備をする(→[運転前の準備と確認 P31](#))
2. 洗濯物を確認して入れる

- ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量	乾燥容量
化学繊維 1kg まで	化学繊維 1kg まで

3. ドアを閉め、給水栓を開ける

↓

1 ①  を押す

②  で  または  を選ぶ

③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う

2 コース  を押してスポーツウェアコースを選ぶ

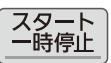
コース		初期設定					
		計量	洗い時間	すぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
スポーツウェア	洗濯	×	8 分	1 回	常温	8 分	×
	洗濯乾燥				自動	60 分	

- 洗い時間など各行程の時間・回数などの変更ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))
※洗濯物の組み合わせにより乾きにくい場合があります。乾燥時間を 120 分に変更して運転してください。

3 手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

4 ! お願い

スポーツウェアコースではすすぎ 1 回用洗剤を使用してください。

5 スタート
一時停止  を押す

- ドアロック が点灯しドアロックがかかり、給水を開始します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。



※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

- 運転開始後に各行程(洗い時間など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))
- 乾燥運転中( 点灯時)にドアを開けたいときは、クールダウン運転終了後まで安全のためドアロックが解除されません。

6 運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

- 運転が終了すると、表示部に  が表示されます。
- ドアロック が消灯して、ドアロックが解除されます。
- 洗濯物を取り出します。

4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。
 - ・ 乾燥運転しない場合、完了後すぐに取り出し、シワを伸ばすように広げ、風通しのいい日陰で乾かしてください。
 - ・ 乾燥運転後は、なるべく早めに取り出してください。
 - ・ [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
 - ・ [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

厚物衣類コース

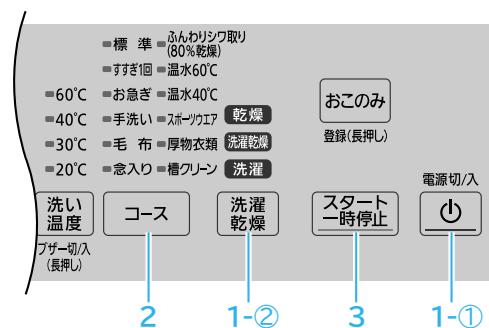
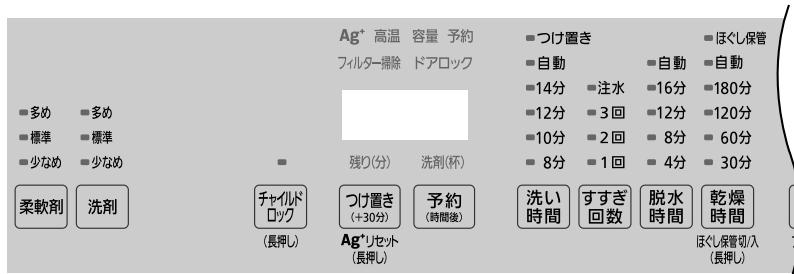
トレーナーやパーカーなど乾きにくい厚物に適したコースです。

厚物衣類コースが使えるもの

- トレーナー、パーカーなど
- 厚手のバスタオル

スポーツウェアコースが使えないもの

- 綿のズボン、シャツ、シーツ、ハンカチなどのシワになりやすいもの
- 「[洗濯も乾燥もできないもの P31](#)」に記載のもの



準備

- 運転前の準備をする(→[運転前の準備と確認 P31](#))
- 洗濯物を確認して入れる

- ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量	乾燥容量
3kg まで	3kg まで

- ドアを閉め、給水栓を開ける



1

①  を押す

②  で  または  を選ぶ

③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、[自動投入の設定 P43](#) を行う

2

 を押して厚物衣類コースを選ぶ

コース	初期設定					
	計量	洗い時間	すぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
厚物衣類	洗濯乾燥	○	10 分	2 回	常温	自動
念入り	洗濯	○	×	×	×	自動

- ・洗い時間など各行程の時間・回数などの変更やつけ置きなどの設定ができます。(→[コース設定を変更する P79](#))
- ・洗い温度を上げるときの注意点(→[コース設定を変更する P79](#))

3

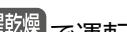
 を押す

1.  が点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
2. 約 20 秒後、洗剤量が表示され一時停止します。(約 20 秒間)



※乾燥運転のみの場合は、洗剤量の計量行程はなく、洗剤・柔軟剤も使用しません。

手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- ・一時停止している間に、洗剤量の表示に合わせて、洗剤を入れてください。
- ※  のときは、洗剤・柔軟剤を使用しません。
- ・  で運転中に  が点滅したら、給水前に洗濯物を減らしてください。

給水が始まったときは

4

 を押すと一時停止できます。再度押すと給水を再開します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。



※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

- 運転開始後に各行程(洗い時間など)を変更したいとき(→[コース設定を変更する P79](#))
- 乾燥運転中(**高温** 点灯時)にドアを開けたいときは、クールダウン運転終了後まで安全のためドアロックが解除されません。

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

- 運転が終了すると、表示部に**End**が表示されます。
乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) を自動で開始します。

※ほぐし保管中に洗濯物を取り出すときは、**スタート一時停止** または  を押す。

- ドアロックが消灯して、ドアロックが解除されます。
- 洗濯物を取り出します。
- 給水栓を閉じます。
- 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- 乾きむらがある場合、シワを伸ばすように広げ、風通しのいい日陰で乾かしてください。
- 乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) が自動で開始しますが、なるべく早めに取り出してください。
- [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

コース設定を変更する

各コースを選択後または運転中に、各行程の時間や回数をお好みに合わせて変更することができます。

運転開始後に各行程を変更するとき

スタート
一時停止

を押して運転を停止し、設定変更後、再度ボタンを押して運転を再開してください。

※ 洗い・すすぎ・脱水の行程のスタート後に設定を変更すると、その時点から、設定した時間・回数で行程が再スタートします。

設定変更のしかた

→洗い時間を変更する P79

→すすぎ回数を変更する P80

→脱水時間を変更する P80

→乾燥時間を変更する P80

→洗い温度を変更する P81

→つけ置きを設定する P81

- 各コースで選べる時間や回数は異なります。(→洗濯コースと設定可能な行程 P50)

洗い時間を変更する

4段階で設定できます。

- つけ置き
- 自動
- 14分
- 12分
- 10分
- 8分



- 0分に設定時は、ランプが消灯します。
- 自動の場合、洗濯物の状態によって洗い時間が変わります。
- 洗い温度を上げたいときは、洗い時間を自動に設定してください。

— すすぎ回数を変更する

1~3回で設定できます。



- ・0回に設定時はランプが消灯します。
- ・注水ランプが点灯している場合、すすぎ方法が注水すぎになります。
注水すぎは、通常の「ためすすぎ」よりもきれいにすすぐことができますが、すすぎで使用する水量が多くなります。

— 脱水時間を変更する

4段階で設定できます。



- ・0分に設定時はランプが消灯します。
- ・自動の場合、洗濯物の状態によって脱水時間が変わります。
- ・脱水時間を「脱水なし」にした場合、排水のみを行います。

— 乾燥時間を変更する

4段階で設定できます。

- ほぐし保管
- 自動
- 180分
- 120分
- 60分
- 30分

乾燥時間



- ・自動の場合は、洗濯物の乾き具合によって乾燥時間が変わります。

—洗い温度を変更する

4段階で設定できます。

- つけ置き
- 自動
- 14分
- 12分
- 10分
- 8分

洗い時間



洗い温度を上げるときは

- ・洗い温度を上げたいときは、洗い時間を自動に設定してください。
- ・冬季など、給水温度が低く洗剤が溶けにくいときは、洗い温度を 20℃に設定してください。

- ・30℃、40℃、60℃は、洗濯する衣類に設定温度以上で洗濯可能なマーク( )など)が付いていることを確認してください。



洗い温度を変更するときは

- ・給水後に温度を上げるため、常温での運転に比べて時間がかかることがあります。
- ・給水温度によっては設定温度まで水温が上がらないことがあります。
- ・給水温度より低い温度に設定しても水温は下がりません。

—つけ置きを設定する

厚手のものや汚れの多いものなどを洗濯するときに効果的です。

つけ置きを設定すると、運転開始後、ドラムが時々回転しながら約 30 分間のつけ置き洗いを行った後、選んだコースの運転を行います。

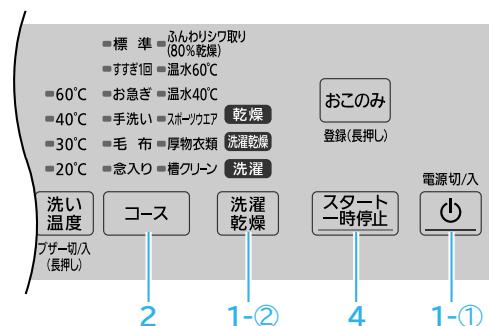


※解除するには再度 **つけ置き** (+30分) を押す

※つけ置きを設定できるコースは、「[洗濯コースと設定可能な行程 P50](#)」にてご確認ください。

脱水のみなどの個別運転をする

洗いのみ、すすぎのみ、脱水のみなど、個別運転をすることができます。



準備

- 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)
- 洗濯物を確認して入れる
- ごみや糸くずを取り除く

洗濯容量
8kg まで

- ドアを閉め、給水栓を開ける(「脱水のみ」は除く)



① を押す

1

② で を選ぶ

③ 洗い行程やすすぎ行程を含む運転をする場合で洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、自動投入の設定 P43 を行う



2 を押して標準コースを選ぶ

洗い時間 すぎ回数 脱水時間

を押して個別運転設定をする

行わない行程のボタンを数回押してランプを消灯させてください。(→[コース設定を変更する P79](#))

※ 各行程は下表を参考にして設定してください。

個別運転設定表

個別運転したい内容	洗い時間	すぎ回数	脱水時間
洗いのみ	○	消灯	消灯
すぎのみ	消灯	○	消灯
脱水のみ	消灯	消灯	○
排水のみ	消灯	消灯	消灯
洗い+すぎ	○	○	消灯
洗い+脱水	○	消灯	○
すぎ+脱水	消灯	○	○

※個別運転したい内容に合わせて、○の付いているボタンのランプを点灯させてください。

- ・すぎ行程から運転をすると、ドラム内に水が入っている場合は排水から、水が入っていない場合は脱水から運転を開始します。

スタート
一時停止 を押す

- ・ドアロック が点灯しドアロックがかかります。

洗い行程がある場合

1. ドラムが回転して洗濯物を計量します。
2. 約 20 秒後、洗剤量が表示され一時停止します。(約 20 秒間)



手動投入する場合、洗い行程がある場合は洗剤を、すぎ行程がある場合は柔軟剤をそれぞれ手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- ・一時停止している間に、洗剤量の表示に合わせて、洗剤を入れてください。

給水が始まったときは

スタート
一時停止 を押すと一時停止できます。再度押すと給水を再開します。

運転がスタートすると残り時間の目安が表示されます。



0:11

残り(分)

洗剤(杯)

※運転予定の行程ランプが点灯し、運転中の行程が順次点滅していきます。運転が終了した行程のランプは消灯します。

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

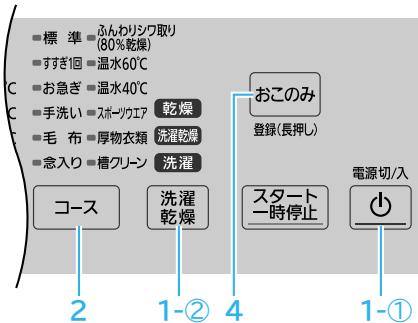
1. 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。
2. **ドアロック** が消灯して、ドアロックが解除されます。
3. 洗濯物を取り出します。
4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。
 - ・ [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

5

おこのみ登録

好みに合わせて変更したコース設定を登録し、呼び出して運転することができます。

– 設定を登録する



- ①  を押す

② 洗濯 乾燥 で 洗濯 洗濯乾燥 乾燥 のいずれかを選ぶ

- 2 コース を押して標準コースを選ぶ

- ① 必要に応じて、**洗い時間** **すすぎ回数** **脱水時間** **乾燥時間** **洗い温度** を押して設定を変更する(→[コース設定を変更する P79](#))

② 自動投入機能を使用する場合は、**柔軟剤** または **洗剤** を押して投入量を変更する(→[自動投入機能の定方法 P44](#))

③ つけ置きを設定する場合は **つけ置き(+30分)** を押す(→[コース設定を変更する P79](#))

おこのみを 3 秒間長押しする

- ・ 設定が登録されるとブザーが鳴ります。

一 設定を呼び出して洗濯する

準備

1. 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)
2. 洗濯物を確認して入れる
 - ごみや糸くずを取り除く
3. ドアを閉め、給水栓を開ける

↓

1  を押す

2  おこのみ を押して登録した設定を呼び出す

- 登録した設定が呼び出されブザー音が鳴ります。

※自動投入機能の投入量を変更したいときは登録した設定を呼び出してから行ってください。

3  を押す

- ドアロック が点灯しドアロックがかかります。

4 ※手洗いコースでは漂白剤は入れないでください。

- 手洗いコースで柔軟剤の自動投入を使用する場合、スタート前に手動の投入ケースに洗剤を入れてください。(→手洗いコース P59)

- 手洗いコース、スポーツウェアコースで手動投入する場合、スタート前に洗剤・柔軟剤を入れてください。

おこのみ登録で選んだコースの手順にしたがって運転する

→標準コース P52

→すすぎ1回コース P52

→お急ぎコース P52

→手洗いコース P59

4 →毛布コース P62

→念入りコース P52

→ふんわりシワ取り(80%乾燥)コース P66

→温水コース P69

→スポーツウェアコース P73

→厚物衣類コース P76

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

1. 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。

乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) を自動で開始します。



※ほぐし保管中に洗濯物を取り出すときは、**スタート** または **一時停止** または **電源** を押す。

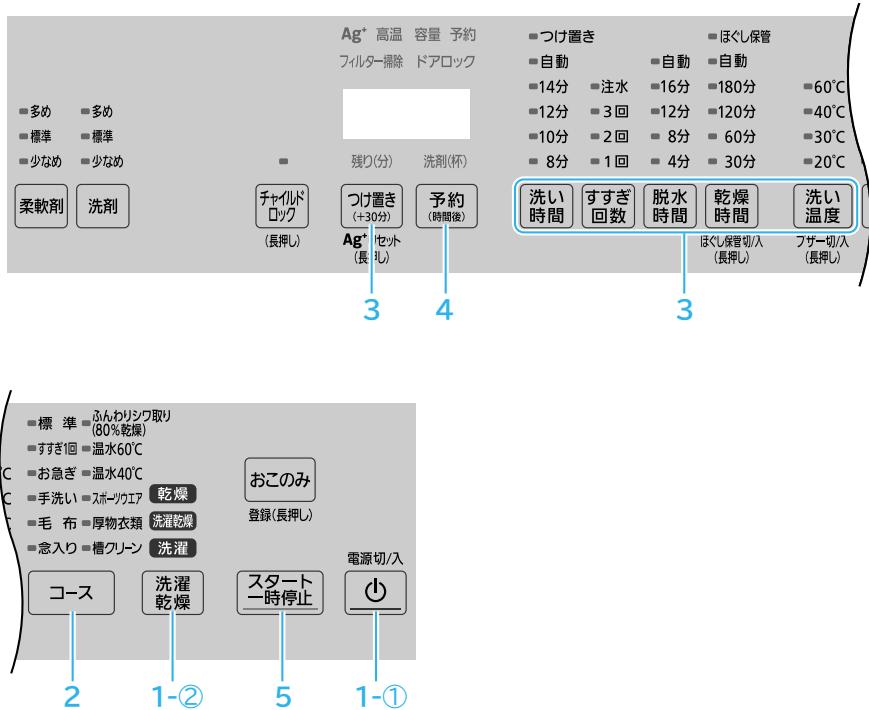
2. **ドアロック** が消灯して、ドアロックが解除されます。
3. 洗濯物を取り出します。
4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

- 乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) が自動で開始しますが、なるべく早めに取り出してください。
- [乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- [糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

タイマー予約運転

運転終了時間を予約することができます。

- コースや運転内容によって予約ができない場合があります。(→洗濯コースと設定可能な行程 P50)



準備

- 運転前の準備をする(→運転前の準備と確認 P31)
- 洗濯物を確認して入れる
- ドアを閉め、給水栓を開ける



- ① を押す
- ② で **洗濯** **洗濯乾燥** のいずれかを選ぶ
- ③ 洗剤・柔軟剤を自動投入する場合は、自動投入の設定 P43 を行う

2

- コース を押してコースを選ぶ

- コースを選択しないと予約設定はできません。

必要に応じて、**洗い時間** **すぎ回数** **脱水時間** **乾燥時間** **洗い温度** を押して設定を変更する(→[コース設定を変更する P79](#))

3

つけ置きを設定する場合は**つけ置き(+30分)**を押す(→[コース設定を変更する P79](#))

※変更しない場合はそのまま次の手順に進んでください。

予約
(時間後)

を押して運転終了までの時間を設定する

- 押すたびに、設定する運転終了時間の表示に変わります。

Ag⁺ 高温 容量 予約 予約設定時に点灯
フィルター掃除 ドアロック

4

予約運転の設定範囲	
洗濯	約 3~19 時間後
洗濯乾燥	約 7~19 時間後
乾燥	設定できません。

スタート
一時停止

を押す

- ドアロックが点灯しドアロックがかかり、ドラムが回転して洗濯物を計量します。
- 約 20 秒後、洗剤量が表示された後(約 20 秒間)、終了時間の表示に戻ります。

5:21

残り(分) 洗剤(杯)

5

予約の取り消しと変更

電源

を押し、電源を切にする

変更する場合は再度電源を入れ直して設定する。

- お急ぎコース、ふんわりシワ取り(80%乾燥)コースでは予約運転は設定できません。

手動投入する場合、洗剤・柔軟剤を手動洗剤投入ケースに入れる(→[洗剤の入れかた\(手動投入\) P49](#))

- 表示された洗剤量にもとづいて、洗剤投入部に洗剤・柔軟剤を入れてください。
※必要に応じて漂白剤を入れてください。(塩素系漂白剤は使用できません)

6 運転開始時間になると

予約した時間に終わるように、開始時間になると 運転を開始します。

! お願い

- ・ジエルボール型の洗剤は使用しないでください。

- ・コースや運転内容によっては洗剤量表示がない場合があります。(→[洗濯コースと設定可能な行程 P50](#))

運転終了後、洗濯物を取り出し、洗濯機をお手入れする

1. 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。

コースや運転内容によって、乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) を自動で開始します。



※ほぐし保管中に洗濯物を取り出すときは、**スタート一時停止** または **電源** を押す。

2. **ドアロック** が消灯して、ドアロックが解除されます。
3. 洗濯物を取り出します。
4. 給水栓を閉じます。
5. 「[お手入れ P96](#)」を参考にお手入れしてください。

7

- ・予約時間と実際の終了時間は、水温や気温、衣類の量などの条件により多少異なります。

特に、温水コース・乾燥行程を含むコースでは、給水される水道水の温度や衣類の量により、終了時間が大きく異なることがあります。

- ・乾燥運転後は、[ほぐし保管 P95](#) が自動で開始しますが、なるべく早めに取り出してください。
- ・乾燥運転をしない場合、洗濯物はシワにならないように、早めに広げ、適切な方法で乾かしてください。
- ・[乾燥フィルター P106](#) のお手入れ(洗濯乾燥での運転後)
- ・[糸くずフィルター P102](#) のお手入れ(定期的に行う)

上手な使いかた

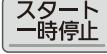
より便利に使うため、脱水・乾燥具合の調整や、脱水後布ほぐし、ほぐし保管の切／入、ブザーの切／入をお好みで設定できます。

設定項目によっては、設定モードに入ってから設定する項目があります。

設定モードで設定する項目	設定モードに入らず設定する項目
<ul style="list-style-type: none">ドラムの回転数を下げる P93振動センサー検知の感度調整 P94乾燥具合の調整 P94脱水後布ほぐしの設定 P94	<ul style="list-style-type: none">ほぐし保管の設定 P95ブザーの設定 P95

設定モードの使用方法

設定モードの入りかた

 を押して電源を入れ、 と  を同時に約 3 秒間長押しする

- ブザー音が鳴り表示部に  が表示され、設定モードに入ります。

設定モードの終わりかた

 を押す

- 設定が記録されます。
- ブザー音が鳴ります。

設定モードで設定する項目

— ドラムの回転数を下げる

ドラムの回転数を下げて、運転時の騒音と振動を抑えることができます。

※設置している床の強度や防水パンの強度などにより、設定変更後の振動が大きくなる場合があります。

使用環境に合わせて設定してください。

設定モード中に、 を押す

押すたび、表示部に表示されます。

▶ 「11:00」 ▶ 「11:01」 ▶

「11:00」:回転数通常(お買い上げ時)

「11:01」:回転数低速

- ・回転数の低速時は、通常より運転時間が長くなる場合があります。

—振動センサー検知の感度調整

振動センサー検知の感度を変更することで、脱水の立ち上がりをスムーズにしたり、騒音や振動を抑えることができます。

設定モード中に、を押す

押すたび、表示部に表示されます。

 「13:00」 →  「13:01」 →  「13:02」

「13:00」:標準(お買い上げ時)

「13:01」:スムーズ脱水モード

「13:02」:振動低減モード

- ・スムーズ脱水モードに設定すると立ち上がりはスムーズになりますが、脱水時の騒音や振動が大きくなる場合があります。
- ・振動低減モードは、標準モードより運転時間が長くなる場合があります。

—乾燥具合の調整

乾燥運転時の乾燥レベルを調整することができます。

設定モード中に、を押す

押すたび、表示部に表示されます。

 「14:00」 →  「14:01」 →  「14:02」

「14:00」:標準(お買い上げ時)

「14:01」:控えめ

「14:02」:念入り

- ・乾燥レベルは、控えめ < 標準 < 念入りの順に大きくなり、乾燥レベルが大きくなるほど乾燥時間は長くなります。

—脱水後布ほぐしの設定

脱水終了後、洗濯物がシワになりにくく仕上げるため、布ほぐしの行程を設定できます。

設定モード中に、 を押す

押すたび、表示部に表示されます。

 「12:00」 →  「12:01」

「12:00」:脱水後布ほぐしなし(お買い上げ時)

「12:01」:脱水後布ほぐしあり

- 手洗いコース、毛布コース、槽クリーンコースでは、脱水後布ほぐしを実施しません。

設定モードに入らず設定する項目

— ほぐし保管の設定

乾燥が終了した後、ドラムが細かく回転制御を行って洗濯物をほぐすことで、洗濯物がシワになりにくく、アイロンがけの手間を軽減できる機能です。

1 ほぐし保管運転を行うコースを選ぶ

乾燥時間 **を約 3 秒長押しする**

- ほぐし保管ランプが点灯します。
- ほぐし保管中は、ほぐし保管ランプが点滅し、表示パネルに「0:00」が表示されます。



2

- ほぐし保管は、または  で運転終了します。
- ほぐし保管中は、ドアロックがかかっています。運転を終了するとドアロックは解除されます。
- お買い上げ時は、「ほぐし保管あり」です。
- ほぐし保管運転は最大約 2 時間行います。
- ほぐし保管運転ができるコースは、[洗濯コースと設定可能な行程 P50](#) にてご確認ください。

- ほぐし保管運転を解除するには、再度 **乾燥時間** **を約 3 秒長押しします。**

— ブザーの設定

操作時と終了時などのブザーを切／入できます。

電源が入のとき、**洗い温度** **を約 3 秒長押しする**

- お買い上げ時は、「ブザー入」です。
- 約 3 秒長押ししたら、他のボタンを押して、ブザーの切／入を確認してください。

お手入れ

お手入れについて



注意

- お手入れは、必ず運転を停止して行ってください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
3か月に1回程度	液体洗剤タンク・柔軟剤タンク P97	水洗い、洗浄
汚れたら	手動洗剤投入ケース P100	水洗い
汚れたら	本体・ドア・ドアパッキン P101	拭き取り
週に1回程度	糸くずフィルター P102	水洗い
乾燥運転後に毎回 bFCの表示を目安に	乾燥フィルター・内部フィルター P106	拭き取り、水洗い
月1回程度	ドラム(槽クリーンコース) P108	洗浄
Ag ⁺ が点滅したら	銀イオンカートリッジ P111	交換

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。

液体洗剤タンク・柔軟剤タンク

3か月に1回程度

(!) お願い

次の場合にもお手入れをしてください。

- ・ 使用する液体洗剤や柔軟剤を変更するとき
- ・ 1か月以上、自動投入を使用しなかったとき
- ・ タンクのふたを開けたまま放置したとき
- ・ 使用中の液体洗剤や柔軟剤がゼリー状になるなど変質したとき

自動投入部ふたを開けてタンクを取り外す

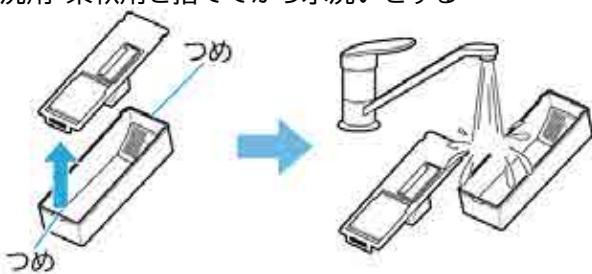
1. 自動投入部ふたを開ける
2. タンクの取っ手を持ってタンクを手前に引く
3. タンクの取っ手を持ち真上に取り外す



※手前に引かないでタンクは外れません

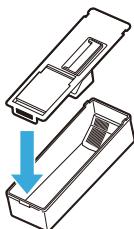
タンクのふたを外してタンク内の液体洗剤・柔軟剤を捨て、水洗いする

1. つめ(2か所)を外してふたを取り外す
2. 洗剤・柔軟剤を捨ててから水洗いをする



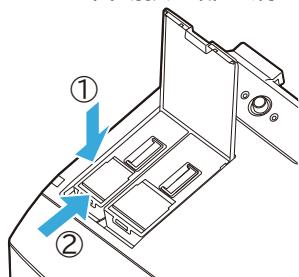
洗剤・柔軟剤タンクを取り付ける

1. つめが引っかかるようにふたをはめ、力チツというまで押しこむ



3

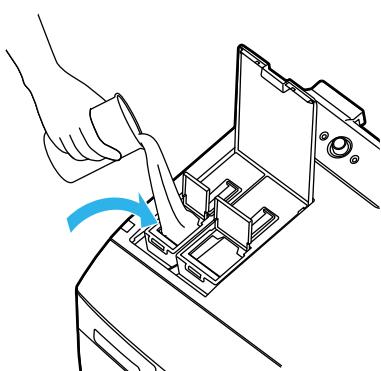
2. タンクを自動投入部の溝に合わせて入れ、奥に当たるまでスライドさせて取り付ける



洗剤・柔軟剤タンクにぬるま湯(40°C以下)を入れる

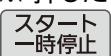
洗剤タンクは約 850ml 柔軟剤タンクは約 600 ml を入れる

4



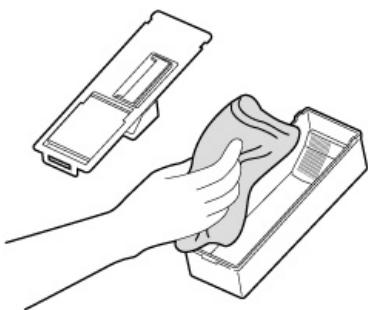
「自動投入経路洗浄」を開始する(約 7 分)

5

1.  を押して電源を入れる
2.  と  を同時に 3 秒以上長押しする
※ 洗剤・柔軟剤ランプが全点灯し、表示パネルに「0:07」が表示されます。
3. 洗剤タンクを洗うときは  、柔軟剤タンクを洗うときは  を押す
4. ※ 押したボタンにしたがって、洗剤ランプまたは柔軟剤ランプが点灯します。
5.  を押して自動投入経路洗浄を開始する

運転終了後タンクを取り外し、タンク内のぬるま湯を捨てて水分を拭き取る

6



7 タンクを取り付けた後、自動投入部ふたを閉じる

手動洗剤投入ケース

汚れたら

手動洗剤投入ケースを取り外す

1. ケースを引き出す
2. 手前を持ち上げて引いて取り外す

1



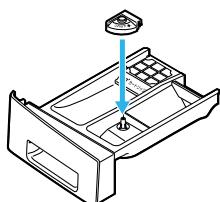
本体を水洗いする

2



柔軟剤キャップをはめる

3



手動洗剤投入ケースを取り付ける

1. 斜め上から差し込む
2. ケースを本体側に押しこむ

4

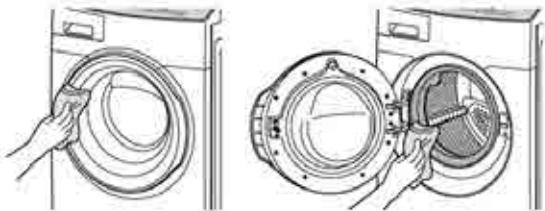


本体・ドア・ドアパッキン

汚れたら

水またはぬるま湯(40°C以下)を含ませたやわらかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

- ・糸くずや髪の毛がパッキンに残ると水もれやにおいの原因になります。必ず取り除いてください。
- ・パッキンのひだの奥も、丁寧に拭いてください。



糸くずフィルター

週に 1 回程度



注意

- 運転中など、ドラム内に水があるときは、絶対に開けないでください。
水もれして、周囲の汚損の原因になります。開ける必要があるときは、水抜きホースを使用して、本体内の水を抜いてください。

！お願い

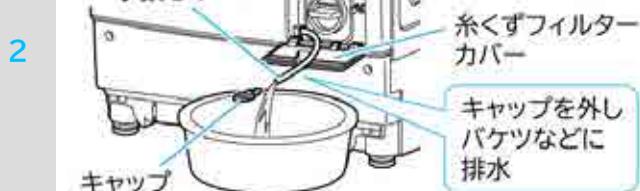
- 糸くずフィルターは確実に取り付けてください。水もれして、周囲の汚損の原因になります。
- 正しく取り付けられていない場合は、表示部にお知らせ表示が出ます。（→[お知らせ表示が出たら P117](#)）

電源を入れ、脱水のみで運転する

1 脱水のみで運転する。

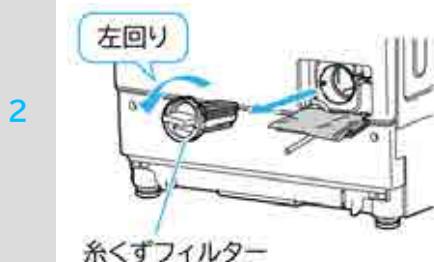
運転終了後、電源を切る。

糸くずフィルターカバーを開けて水抜きホースで排水する



糸くずフィルターを取り外す

▶が右側を向きパチンとなるまでつまみを左回りに回して、引き抜く



- 本体内に残っている水がもれてくる場合があるため、ぞうきんなどで水を受けてください。

ごみを取り除いて水洗いする

3



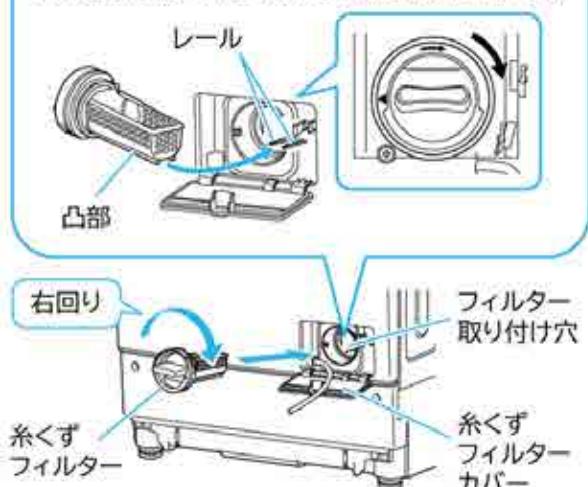
- ゴムパッキンがずれている場合はきちんとはめてください。水もれの原因になります。



糸くずフィルターを取り付ける

4

糸くずフィルター下部の凸部がフィルター取り付け穴内部のレールの内側に入るようまっすぐ差し込んだ後、◀が左を向き止まるまで右に回す。



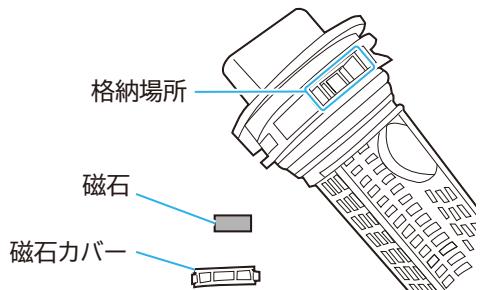
5

水抜きホースを戻して、糸くずフィルターカバーを閉じる

水抜きホースのキャップをして元の位置に戻し、糸くずフィルターカバーを閉じる

糸くずフィルターの磁石が外れたら

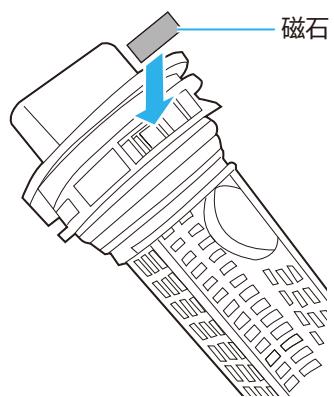
糸くずフィルターを外したときに、中に入っている磁石が外れることがあります。



—磁石の取り付けかた

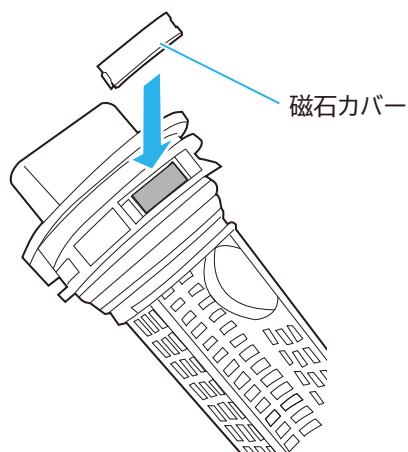
糸くずフィルターのハンドル部の格納場所に磁石をはめ込む

1



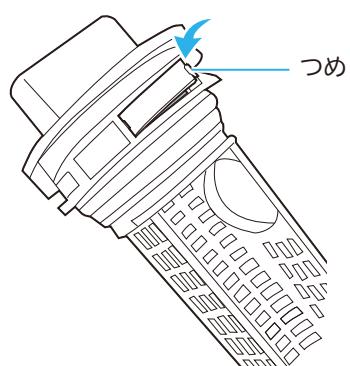
上から磁石カバーをかぶせる

2



磁石カバーのつめ部分を押し込む

3



乾燥フィルター・内部フィルター

乾燥フィルター:乾燥運転後に毎回

内部フィルター:**bFC**の表示を目安に

乾燥フィルターは乾燥運転後に毎回お手入れしてください。乾燥運転後に**フィルター掃除**が点灯します。

内部フィルターは乾燥運転30回ごとに表示部に**bFC**表示が出るので、表示を目安にお手入れしてください。

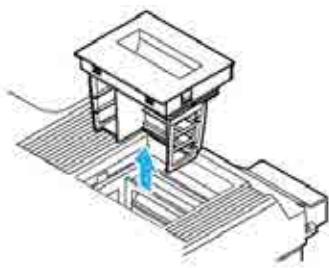
(!) お願い

- 乾燥フィルター、内部フィルターにほこりがたまつたままの運転は、乾燥時間が長くなる原因となります。また、乾燥ができずに終了する場合があります。
- 乾燥フィルターを取り外した後、本体内にものを落とさないでください。
- 乾燥フィルター・内部フィルターは確実に取り付けてください。乾燥フィルターが正しく取り付けられていない場合は、表示部にお知らせ表示が出ます。

乾燥フィルターを取り外す

- 乾燥フィルターを上に持ち上げて取り外します。

1



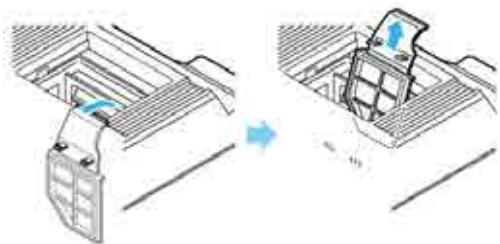
内部フィルターをお手入れする場合

内部フィルターを取り外す

※ 内部フィルターは乾燥フィルター取り付け部の手前にあります。

- 内部フィルターのつまみを奥に押し上げてつめを外した後、上に引き上げて取り外します。

2



乾燥フィルター・内部フィルターのメッシュ部分のごみを取り除く

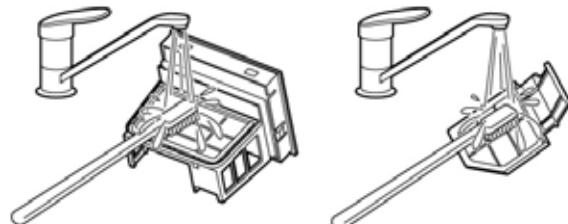
- ・フィルターのメッシュ部分に付着しているほこりを絞ったタオルなどで取り除きます。
強くこすると破れるおそれがあります。



3

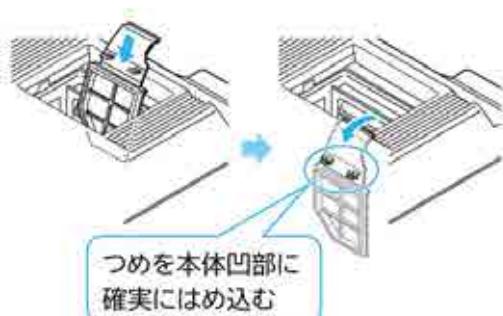
メッシュ部分が目詰まりしている場合

- ・汚れがひどく、メッシュ部分にごみが詰まっている場合、歯ブラシやタオルを使用して水洗いしてください。
強くこすると破れるおそれがあります。
※目詰まりしたまま使用すると、乾燥機能が著しく低下したり製品故障を引き起こしたりする可能性があります。



内部フィルターを取り付ける

- ・内部フィルターは差し込んだ後、手前に引いて、上部のつめを本体にはめてください。



4

乾燥フィルターを取り付ける

- ・乾燥フィルターを取り外したときと逆の手順で取り付けてください。
- ・取り付け部の奥まで押し込んでください。

ドラム(槽クリーンコース)

月に1回程度

洗濯機内部がかび臭いときや、汚れが目立つとき、洗濯物に洗剤かすが付着するようなときは、槽クリーンを行ってください。

！お願い

- ・ 塩素系漂白剤や槽洗浄用のクリーナーを使用する場合、必ず、洗い温度を30°C以下に設定してください。
初期設定は60°Cに設定されています。

- ・ 塩素系漂白剤は、酸性のものや他の液体と絶対に混ぜないでください。
- ・ 塩素系漂白剤が壁や本体外側に付いたときは、速やかに拭き取り、しばらくの間、換気扇を回してください。
- ・ 塩素系漂白剤やクリーナーの液が、手や体に付いたときは、速やかに水で洗い流してください。
- ・ 塩素系漂白剤やクリーナーの液は、絶対に目に入れないでください。万が一目に入ったときは、すぐに流水で洗い、医師に相談してください。
- ・ 塩素系漂白剤を取り扱うとき、洗浄後に糸くずフィルターなどを掃除するときは、必ずゴム手袋をしてください。
- ・ 運転前は必ずドラムの中に洗濯物がないことを確認してください。



注意

ポイント

槽洗用クリーナーについて

- ・ 槽クリーンには市販の塩素系漂白剤(または槽洗用クリーナー)を使用してください。
- ・ 塩素系漂白剤(槽洗用クリーナー)の分量については、塩素系漂白剤(槽洗用クリーナー)の表示にしたがってください。
塩素系漂白剤は、表示がない場合は、約300mL使用してください。
- ・ 酸素系漂白剤や台所用漂白剤は使用しないでください。泡が大量に発生し、機器が故障するおそれがあります。

1

給水栓を開け、を押して電源を入れる

2

   を押して、   のいずれかを選ぶ

お手入れ内容に応じて、運転内容を選んでください。

洗濯 : ドラムについていた汚れや洗剤を落としたいとき(所要時間: 約 2 時間 6 分)

洗濯乾燥 : ドラムの洗浄後、ドラムを乾燥させ、においも抑えたいとき(所要時間: 約 4 時間 11 分)

乾燥 : ドラムを乾燥させたいとき(所要時間: 約 2 時間)

コース		初期設定					
		計量	洗い時間	すすぎ回数	洗い温度	脱水時間	乾燥時間
槽クリーン	洗濯	×	自動	2 回	60°C	8 分	×
	洗濯乾燥		自動	2 回	60°C	8 分	120 分
	乾燥		×	×	×	×	120 分

3 **コース** を押して槽クリーンコースを選ぶ

洗い温度を 30°C 以下に設定した場合、直接ドラム内に槽洗浄用クリーナーまたは塩素系漂白剤を入れる



- ・ 洗い温度が 40°C、60°C のときは入れないでください。(初期設定は 60°C)
- ・ **乾燥** での運転時には入れないでください。

5 ドアを閉める

スタート一時停止 を押す

槽洗浄がスタートすると

6 ドアロックがかかり(**ドアロック** 点灯)、表示部に残り時間の目安が表示されます。



※ 初期設定では給水された水は 60°C に温められます。

7 運転終了後、糸くずフィルターのお手入れをする

1. 運転が終了すると、表示部に **End** が表示されます。

2. ドアロック が消灯して、ドアロックが解除されます。
 3. 給水栓を閉じます。
 4. [糸くずフィルター P102](#) のお手入れを参考にして、水抜きホースで排水し、糸くずフィルターを清掃した後、糸くずフィルターカバーを閉じる。
- ・排水作業時は、必ずゴム手袋をしてください。また、液が目に入らないように注意してください。

銀イオンカートリッジの交換

Ag⁺ が点滅したら

Ag⁺ が点滅した場合、銀イオンカートリッジの効果が低下しているため、交換する必要があります。別売の交換用カートリッジ（→銀イオンカートリッジについて P13）をお買い求めのうえ、交換してください。

- ・銀イオンカートリッジの交換時期は、約2年です。
(水温:20°C、洗濯容量:8kg、標準コースで2日に3回運転する場合)
※使用条件によって、交換時期は前後します。

手動洗剤投入ケースを取り外す

1. ケースを引き出す
2. 手前を持ち上げて引いて取り外す

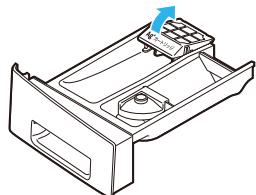
1



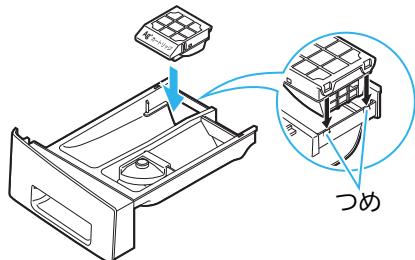
銀イオンカートリッジを取り外して、新しいカートリッジと交換する

1. 前端を持ち上げて後端のつめを外す

2



2. 新しいカートリッジは後端のつめがパチンとはまるまでまっすぐ上から差し込む



3

手動洗剤投入ケースを取り付ける

1. 斜め上から差し込む
2. ケースを本体側に押しこむ



つけ置き
(+30分)

を約3秒間長押ししてリセットする

Ag⁺ が点滅から点灯へ変わります。

4

Ag⁺ 高温 容量 予約
フィルター掃除 ドアロック



Ag⁺ 高温 容量 予約
フィルター掃除 ドアロック

こんなときには

困ったときは

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

— 洗濯がスタートしない

→電源が入っていますか？



を押して電源を入れてください。

→ を押していますか？



を押すと、洗濯が始まります。

→ を2度押していませんか？

洗濯が始まった後に を押すと、一時停止になります。もう一度 を押してください。

→タイマー予約運転になっていませんか？

すぐに洗濯する場合は、一旦電源を切り、再度入れ直して、洗濯してください。

→給水栓が閉まっていませんか？

給水栓の接続を確認して、給水栓を開いてください。(→据付説明書)

→給水水圧が低くなっていますか？

給水栓の接続を確認して、給水栓を開いてください。(→据付説明書)

— 電源が入らない

→電源プラグをコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

— ドアが開かない

→ ドラム内の温度が高くなっています

- ・ ドラム内の温度が高い場合は、運転を停止してもドアロックが解除せず、開きません。乾燥時に  を押すと、しばらくクールダウン運転を行い、終了するとドアロックが解除されてドアを開くことができます。
- ・ 運転終了後に高温ランプが点灯している場合は電源を入れ直すと、自動的にクールダウン運転を行い、終了するとドアロックを解除します。

→ 水位が高くなっています

水位が高いと、洗濯を停止してもドアロックが解除せず、開きません。洗濯を継続して、排水が完了したタイミングで停止すると、ドアロックが解除して開くことができます。

— 水もれする

→ 給水ホースが給水栓と確実に接続されていますか？

給水ホースを給水栓と確実に接続してください。(→据付説明書)

→ 給水ホースと給水栓が合っていますか？

給水ホースと給水栓の形状が合っていないときは、ニップル付き給水栓に取り替えるか、ホースに付属している継手を給水栓に取り付けてください。(→据付説明書)

→ 給水ホースの継手が、確実に給水栓に取り付けられていますか？

給水ホース付属の継手は、給水栓に、すき間のないように確実に取り付け、しっかりとねじを締めてください。(→据付説明書)

→ 糸くずフィルターがしっかりと取り付けられていますか？

糸くずフィルターをしっかりと取り付けてください。(つまみが当たって止まるまで、しっかりと回してください。)

→ ドアパッキンに糸くずや髪の毛などの汚れが付着していませんか？

パッキンに付着した糸くずや髪の毛を取り除いてください。

→ 洗剤を入れすぎていませんか？

洗剤を少なめに入れてください。泡が多いと排水が流れにくくなり、排水口からあふれることができます。

— すすぎ脱水運転で給水が始まらない

→ すすぎ脱水運転では、最初に排水、脱水運転をしてから給水をします
故障ではありません。

— 音が大きい、振動する

→ 洗濯物が偏っていませんか？

単独の洗濯物やネットに入れた毛布などの大物を脱水すると、偏って振動が大きくなります。

単独の洗濯物は、バランスを取るため、バスタオルなど別のものを一緒に入れてください。また、大物はネットに入れないとください。

→ ファスナーやボタンなどがドラムの内側に当たっていませんか？

ファスナーやボタンは閉じ、ファスナーやボタンなどが表側に出てる衣類は、裏返しにしてから洗濯してください。
乾燥中はカランカランと音がする場合があります。

→ 金属の小物などと一緒に洗濯していませんか？

金属の小物などは、ポケットなどから取り出して洗濯してください。

→ 背面の輸送用固定ねじが付いていませんか？

据え付け時に、必ず輸送用固定ねじを外してください。（→据付説明書）

→ 防水性のもの、水を通しにくいものを入れていませんか？

洗濯できる表示があっても洗わないでください。

→ 電源コード、給水ホース・排水ホースなどが洗濯機本体に当たっていませんか？

これらのコードやホース、または本体の位置を調整して当たらないようにしてください。

→ 設置が悪く、がたついていませんか？

水平で安定した場所に据え付けし直してください。（→据付説明書）

→以下の音は異常ではありません

排水中にゴボゴボという音がする

脱水運転中に水の音がする

脱水運転中にドアパッキンからベコベコと音がする

乾燥運転中ブオーと音がする

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

- ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- [お問い合わせ P121](#)

お知らせ表示が出たら

洗濯が止まり 以下の表示が出る	理由・処置
デー・イー 	<p>ドアがきちんと閉まっていない</p> <p>スタート一時停止 を押して一時停止し、ドアを閉めてください。</p> <p>ドアに異物が挟まっていた場合は、取り除いてドアを閉めてください。再度スタートします。</p>
アイ・イー 	<p>給水されない</p> <p>給水が足りない</p> <p>スタート一時停止 を押して一時停止し、給水栓を確認してください。</p> <p>給水栓が閉まっている場合は開けてください。給水栓の接続を確認して、確実に接続してください。</p> <p>給水栓から確実に給水されることを確認したら、再度スタートしてください。</p>
エル・イー 	<p>洗濯物が多すぎてモーターに負荷がかかると、洗濯を停止する</p> <p>スタート一時停止 を押して一時停止し、洗濯物を減らしてドアを閉めてください。</p> <p>再度スタート一時停止 を押すと、スタートします。</p>
オー・イー 	<p>排水されない</p> <ul style="list-style-type: none"> 排水ホースがつぶれていないか確認して、直してください。 排水ホースの高さが 10cm 以下になっていることを確認してください。(→据付説明書) 排水ホース・排水口・糸くずフィルターがつまっているか確認して、お手入れしてください。
ピー・イー 	<p>給水されない</p> <p>給水栓・給水ホースなどを点検してください。</p> <p>給水が止まらない</p> <p>水位センサーの故障の可能性があります。アイリスコールへご相談ください。</p>
ピー・エフ 	<p>運転中に停電、または電源プラグが外れたため、運転が途中で止まった</p> <p>停電などで電源が切れた後に電源を入れると表示されます。</p> <p>スタート一時停止 を押すと、停止した運転を再開します。</p> <p>電源ボタン を押すと、再開せずに電源が切れます。</p>

エス・イー・イチ SE1	糸くずフィルターが正しく取り付けられていない 糸くずフィルターを正しく取り付けてください。
エス・イー・ニ SE2	乾燥フィルターが正しく取り付けられていない 乾燥フィルターを正しく取り付けてください。
ユー・イー UE	洗濯物が偏っていて、脱水できない <ul style="list-style-type: none"> 単独の洗濯物を脱水すると、偏って脱水できず停止します。バランスを取るために、バスタオルなど別のものを一緒に入れてください。 毛布などの大物を洗濯用ネットに入れて脱水すると、偏って脱水できず停止します。大物は洗濯用ネットに入れないと洗濯してください。
ビー・エフ・シー BFC	内部フィルターのお手入れをする <p>内部フィルターをお手入れしてください。 ほこりがたまると乾燥時間が長くなります。 乾燥運転 30 回ごとに表示されます。</p>
シー・エル CL	チャイルドロックがかかっている <p>チャイルドロックを解除するには、電源が入った状態で、チャイルドロックを約 3 秒長押ししてください。</p>
シー・ディー CD	クールダウン運転中 <p>乾燥終了時にドラム内が高温のため冷却運転を行っています。</p>

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

- ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- [お問い合わせ P121](#)

アフターサービスとその他の内容

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50／60Hz
定格入力	1000W
電動機消費電力	200W
温水用電熱装置消費電力	800W
温風用電熱装置消費電力	800W
標準洗濯容量	8kg
標準脱水容量	8kg
標準使用水量	80L
標準乾燥容量	4kg
標準水量	30L
保護等級	IPX4
外形寸法	幅 595×奥行 652×高さ 1065mm
質量	81kg

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール: [0800-919-0770](tel:0800-919-0770) (通話料無料)

9:00~17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポート: <https://www.irisohyama.co.jp/support/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>

ドラム式洗濯乾燥機

HDK842Z-W

据付説明書

もくじ

安全上の注意	2
製品寸法／付属品の確認	4
排水ホースと電源コードの収納のしかた	4
輸送用固定ねじの外しかた・取り付けかた	5
前面パネルの外しかた・取り付けかた	5
据え付け前の確認	
据え付け場所	6
排水口／給水栓／電源・アース	7
据え付け	
据え付けの流れ	8
①排水ホースを接続する (本体側)	9
②給水ホースを接続する (本体側)	9
③排水口へ接続する	9
④設置の確認をする	11
⑤給水栓へ接続する	12
⑥水平・がたつきを確認する	13
⑦前面パネルを取り付ける	14
⑧アース・電源コードを接続する	14
試運転	15
別売品／据え付け関連部品	裏表紙

お客様へ

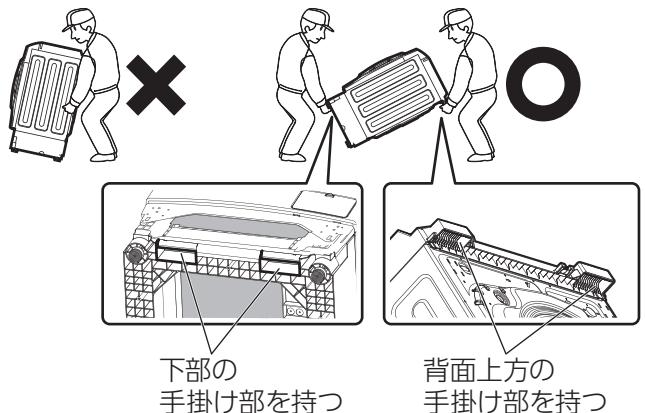
- この据付説明書は、取扱説明書とともに大切に保管してください。

据え付けされる方へ

- 据え付け前に、「安全上の注意」をよく読んで、正しく据え付けてください。
- 製品の機能が十分発揮されるように、この据付説明書にしたがって正しく据え付けてください。
- 据え付け終了後、必ず「チェックシート」にしたがって確認をしてください。
- 据え付け終了後、必ず試運転を行ってください。
- 異常のないことを確認した後、この据付説明書はお客様にお渡しください。

本体運搬時の注意

- 本体を引きずって移動しないでください。
床を傷つけたり、脚が破損したり、振動・異音が発生したりします。
- 必ず、2人以上で作業してください。
- 必ず、すべり止め付きの安全手袋を使用してください。
1人は背面上方の手掛け部を、もう1人は下部の手掛け部を持ってください。
必ず手掛け部を持ち、前面パネルは持たないでください。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取る
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災の原因になります。



- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



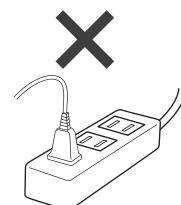
- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけど・火災の原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけない
据え付け時は、洗濯機で電源プラグを押しつけないように注意してください。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、絶対に自分で修理せず、アイリスコールへお問い合わせください。
- 電源コードを傷つけない
- 電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重い物を載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 延長コードは使用しない

過熱してやけど・火災の原因になります。



据え付けについて



- 水まわり、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けない
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所に据え付けない
火災・感電の原因になります。



アースを
必ず接続

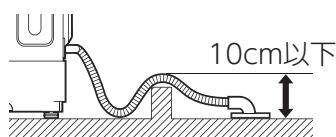
- アースを必ず取り付ける
感電・やけど・けがの原因になります。
- アース線は、ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しない
爆発・火災の原因になります。

!**注意**

誤った取り扱いをすると、人掛けがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- 排水ホースは高さ10cm以下にする
- 据え付け後や移設後は、給水栓を開いて、水もれがないか確認する
水もあるあるときは、もう一度各接続部を点検してください。



- 排水ホースはたるませない
- 排水ホースはねじらない
排水ができなかったり、逆流したりすることがあります。
また、本体内部で他の部品と接触すると、ホースが破れるおそれがあります。



- 給水ホースと本体の給水栓は確実に接続する
- 洗濯前は、給水栓を開けて、給水ホースの接続を確認する
給水栓のナットなどがゆるんでいないか確認してください。ホースが外れると、水もれや事故の原因になります。
- 据え付けるとき・移設するときは、必ず新品の給水ホースを使用する
古くなった給水ホースは、水もれなどのおそれがあります。給水ホースについては、アイリスコールへご連絡ください。



- 給湯器に接続しない
プラスチック部分が変形・破損し、感電や漏電、水もれの原因になります。

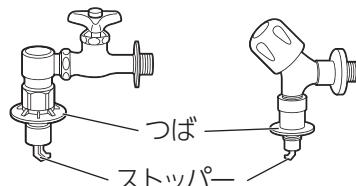


- 床近傍の給水栓に接続しない
給水ホースの重みで給水ナットがゆるんで水もれの原因になります。

給水ホースについて



- ニップル付き給水栓に接続する場合は、付属の給水ホースから継手を外して、給水栓に接続する



- ニップル付き給水栓でない場合は、洗濯機用ニップル（市販）を取り付けるか、付属の給水ホースの継手を取り付けて接続する（取り付けかた→P12）
付属の継手は、水もれがないように、確実に取り付けてください。給水ホースとサイズなどが合わない場合は取り付けないでください。

据え付けについて



- キャスター付きの台など不安定な場所に据え付けない
- 高いところに据え付けない
脱水時の振動で、転倒・落下・移動し、けがや周囲の家財を破損する原因になります。
- カーペットなど、底面の通気をさまたげる場所に据え付けない
火災の原因になります。



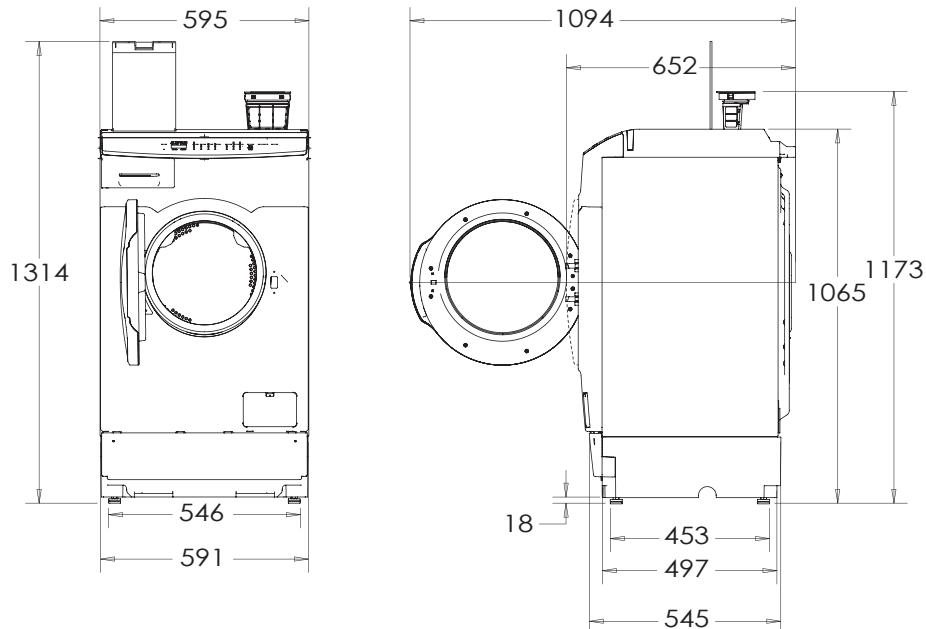
- 確実に排水できる場所に据え付ける
水もれにより、周囲の家財の汚損や、火災・感電の原因になります。



- 前面パネルは、必ず取り付けて使用する
前面パネルを取り付けずに、洗濯機の底面に手などを入れると、けがのおそれがあります。
- 据え付けや移動のときは、前面パネルを外す
破損してけがの原因になります。

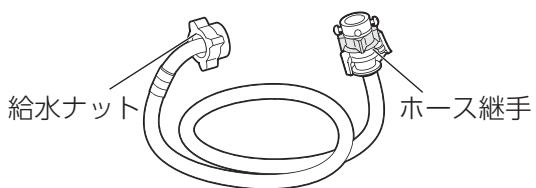
製品寸法

単位: mm



付属品の確認

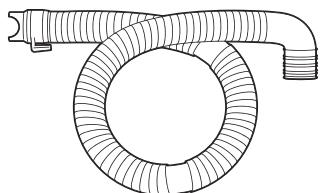
給水ホース



輸送用固定ねじ穴キャップ×4



排水ホース



ホースクリップ



スパナ (輸送用固定ねじ用、調節脚用)



輸送用固定ねじ×4

(工場出荷時は本体に取り付けられています。)



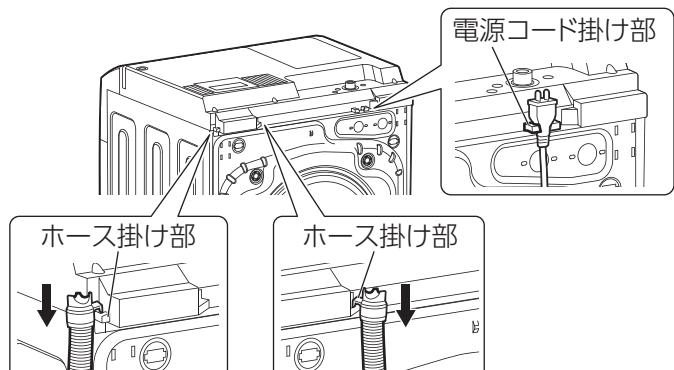
接続口キャップ

(工場出荷時は本体に取り付けられています。)



排水ホースと電源コードの収納のしかた

本体に電源コードや排水ホースをかけるときは、本体背面の電源コード掛け部、ホース掛け部を使用してください。



輸送用固定ねじの外しかた・取り付けかた

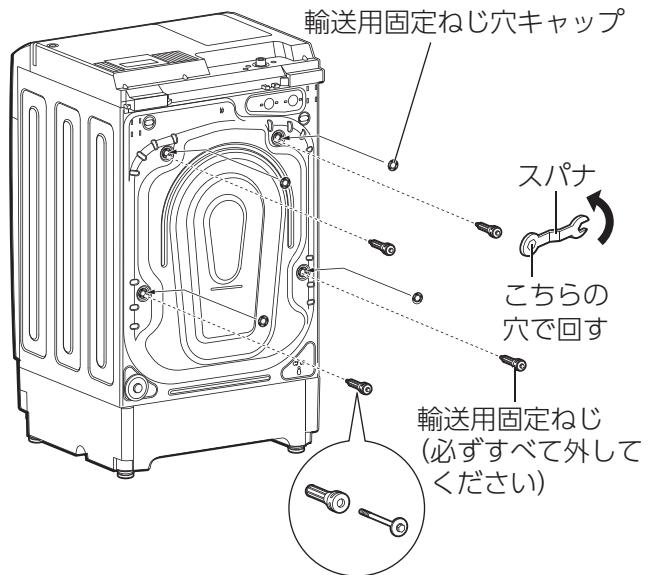
- 据え付け時は、必ず輸送用固定ねじを外してください。
- 移動時は、必ず輸送用固定ねじを付けて締めてください。
洗濯機の振動や故障・破損の原因になります。

輸送用固定ねじの外しかた

- ①背面の輸送用固定ねじを、付属のスパナで回して外す。
- ②輸送用固定ねじを外した穴に、付属の輸送用固定ねじ穴キャップをはめ込む。

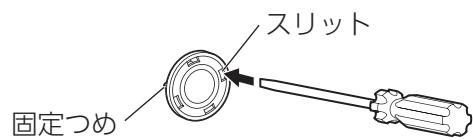
① お願い

- 外した輸送用固定ねじは、移動・輸送のときに必要になるので、お客様にお渡しして、大切に保管するように依頼してください。



輸送用固定ねじの取り付けかた

- ①輸送用固定ねじ穴キャップのスリットにマイナスドライバーを差し込み、固定つめを外して、輸送用固定ねじ穴キャップを取り外す。
- ②輸送用固定ねじ穴キャップを取り外した穴に、輸送用固定ねじを取り付け、付属のスパナで回して締める。



前面パネルの外しかた・取り付けかた

工場出荷時は、前面パネルは取り付けられた状態です。

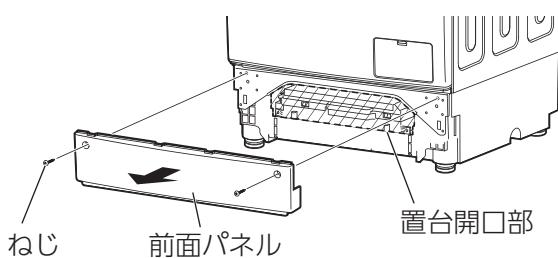
- 据え付け時は、前面パネルを外してください。
- 据え付け完了時は、前面パネルを必ず取り付けてください。



- 前面パネルは、必ず取り付けて使用してください。
前面パネルを取り付けずに、洗濯機の底面に手などを入れると、けがのおそれがあります。
- 据え付けや移動のときは、前面パネルを外してください。
破損してけがの原因になります。

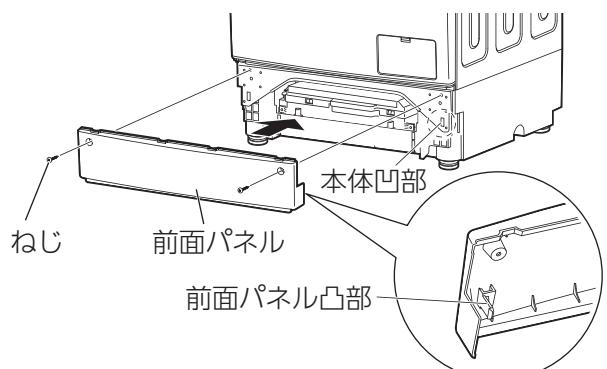
前面パネルの外しかた

- ねじ（2本）を外して前面パネルを手前側へ引いて取り外す。



前面パネルの取り付けかた

- 前面パネルの凸部を本体の凹部にはめ、ねじ（2本）で取り付けてください。



据え付け前の確認

据え付け場所



- 水回り、浴室など湿気のある場所には絶対に据え付けないでください。
- ベランダ・庭など風雨にさらされる場所には据え付けないでください。

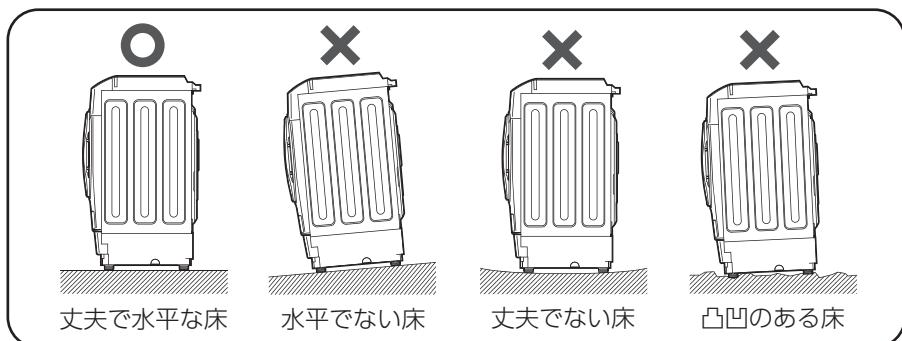


- キャスター付きの台など、不安定な場所には据え付けないでください。
- 高いところに据え付けないでください。
- 確実に排水できるところに据え付けてください。

■水平でしっかりした場所であることを確認

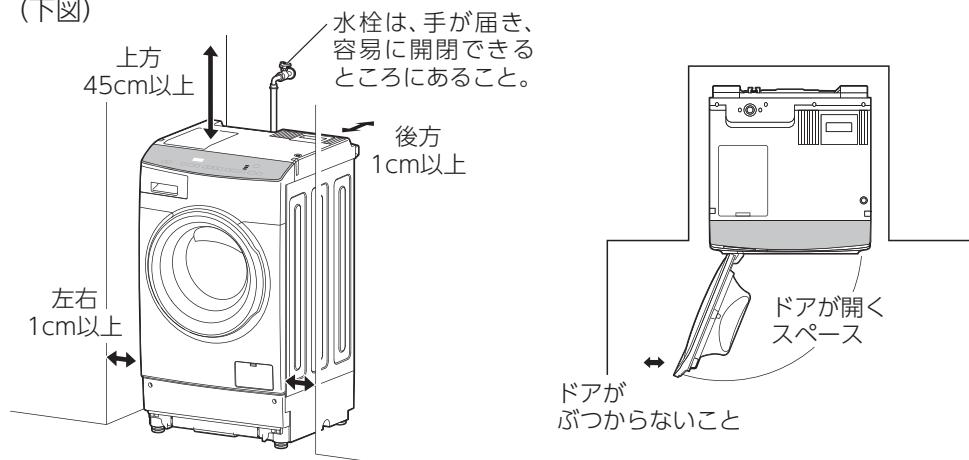


- 水平でしっかりとした場所でないと、振動による騒音や、壁・床などの破損、転倒事故などの原因になります。



■据え付けに必要な寸法を確認

- ・壁から距離を空けてください。(下図)



※ 水栓が低い位置にあり本体に当たる場合、ミニセラ洗濯機用水栓（市販）をご使用ください。

■防水パンの寸法を確認（防水パンに据え付ける場合）

※防水パンが設置されていない場合

床が防水でないとき

→ 洗濯機用防水パン（別売または市販）を設置する。（→裏表紙）

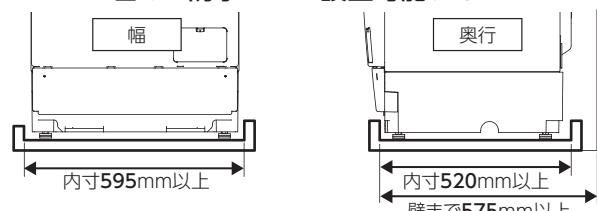
洗濯機用防水パン（別売または市販）を使用できないとき

→ かさ上げ台（別売）を使用する。（→裏表紙）
(調節脚のゴム跡や色移り防止のため)

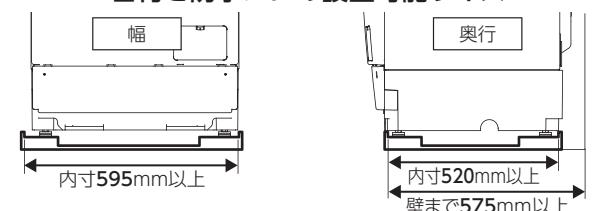


- 室温が低いときや湿度が高いとき、冷水を使用して洗濯するときなど、洗濯機の内側が結露して、床がぬれことがあります。防水パンの使用をおすすめします。

台なし防水パンの設置可能サイズ



台付き防水パンの設置可能サイズ



※ 台付き防水パンの場合は、洗濯機のすべての脚を台の上に載せてください。

排水口

■ エルボ・ホースクリップの有無を確認



※エルボ・ホースクリップがない場合

→市販品を使用する。

※排水口が洗濯機の下で、かつエルボが取り付けられない場合

→真下排水パイプセット（別売）を使用する。
(→裏表紙)

■ 排水ホースが届かない場合

・洗濯機排水ホース（市販）を使用する。

洗濯機排水ホース（市販）
(延長は1.5mまで)



給水栓

■ 給水ホースの接続を確認

接続できる給水栓



ニップル付き水栓

付属の継手は使用せず、継手を外して、付属の給水ホースを直接接続する。（→P13）

付属の継手を使用して接続できる給水栓



横水栓

付属の継手を給水ホースから取り外し、給水栓に取り付けて、給水ホースを接続する。（→P12）

接続できない給水栓



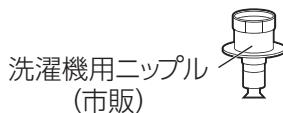
自在水栓
万能ホーム水栓

カップリング横水栓

つばなしワンタッチ水栓

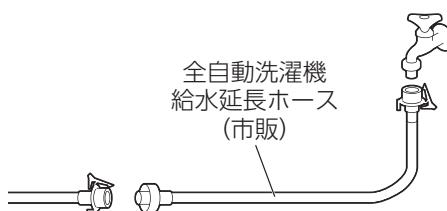
① お願い

- 自在水栓・万能ホーム水栓など、吐水口が動くものは、水もれのおそれがあります。
- 上記の水栓には、付属の継手は取り付けできません。市販の洗濯機用ニップルを取り付けて使用してください。



■ 給水ホースが届かない場合

- ・全自動洗濯機給水延長ホース（市販）を使用する。



電源・アース

■ 電源コンセントにアース端子がない場合

- ・電気店にアースの設置工事を依頼する。

据え付け

据え付けの流れ

据え付けの前に

据え付け

確認

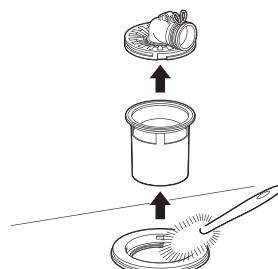
据え付け前に、必ず以下の準備を行ってください。

- | | |
|-------------|---|
| 輸送用固定ねじを外す | 5 |
| 前面パネルを取り外す | 5 |
| 据え付け前の確認をする | 6 |

排水口を掃除する

① お願い

- 排水ホースを取り付ける前に、排水口を取り外して掃除してください。
- 排水口にごみがたまっていると、水もれや排水不調、においの原因になります。

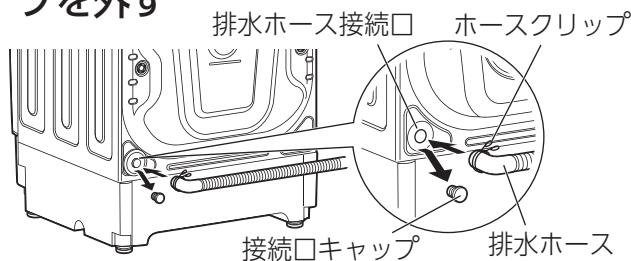


- | | |
|---------------------------|--------|
| ① 排水ホースを接続する (本体側) | 9 |
| ② 給水ホースを接続する (本体側) | 9 |
| ③ 排水口へ接続する | 9 ~ 11 |
| 排水ホースの接続のしかた | |
| エルボが付いている場合 | |
| A : 排水口が防水パンの手前・中央付近にある場合 | |
| B : 排水口が防水パンの奥側にある場合 | |
| C : 排水口が洗濯機の横にある場合 | |
| エルボが付けられない・付いていない場合 | |
| D : 排水口が本体の下にある場合 | |
| E : 排水口が本体の下以外にある場合 | |
| ④ 設置の確認をする | 11 |
| ⑤ 給水栓へ接続する | 12 |
| ⑥ 水平・がたつきを確認する | 13 |
| ⑦ 前面パネルを取り付ける | 14 |
| ⑧ アース・電源コードを接続する | 14 |

- | | |
|-------------------|-----------|
| 据え付けの確認とチェックシート記入 | 別紙チェックシート |
| 試運転 | 15 |

①排水ホースを接続する（本体側）

①排水ホース接続口から接続口キャップを外す



① お願い

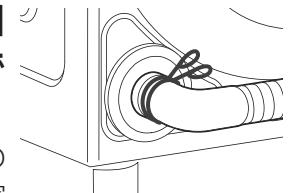
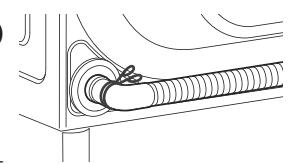
- 外した接続口キャップは、移動・輸送のときに必要になるので、お客様にお渡しして、大切に保管するように依頼してください。

②排水ホースの先端の凹凸部が隠れるまで、接続口に押し込む

※ 奥まで差し込まないと、運転中に排水ホースが外れたり、水漏れの恐れがあります。

③排水ホースと接続口をホースクリップで固定する

※ ホースクリップは一番手前の溝にはめるようにして、固定してください。



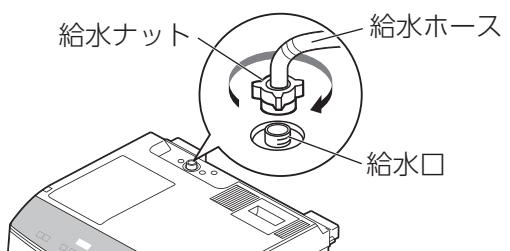
②給水ホースを接続する（本体側）



注意 ●給水ホースと本体の接続は、確実に行ってください。

給水ホースを本体に接続する

- ・給水ホースの先に付いている給水ナットを、傾けないように本体の給水口に合わせて、給水ナットを締めこんでください。



③排水口へ接続する

電源基板ケースを取り外す

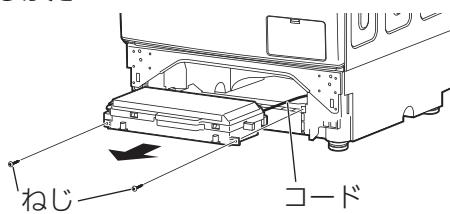
① お願い

- 洗濯機下部に手を入れて作業する場合は、本体下部の電源基板ケースを取り外す必要があります。



- コードを引っ張りすぎないでください。
- 必ずコンセントを抜いてから取り外してください。
- 基板ケースは開けないでください。

取り外しかた



①基板ケースのねじを取り外す。(2か所)

②基板ケースを引き出す。

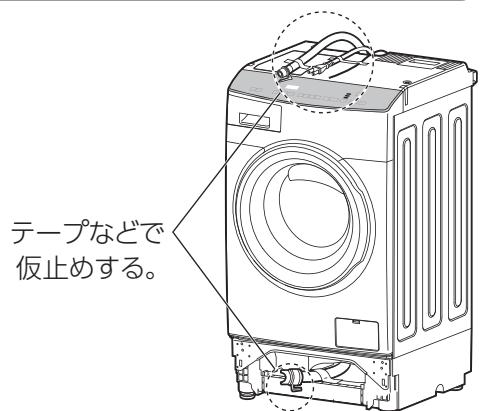
※ 基板ケースと本体はコードでつながっています。

※取り付ける場合は逆の手順で取り付けてください。

排水口の位置やエルボの有無に合わせて、A～Eのいずれかの接続方法（→P10、11）にしたがってください。



- 給水ホース・電源コード・アース線などは、取り出しやすい位置にテープなどで仮止めしておいてください。
- 排水ホースは、排水口が洗濯機の下や横にある場合は、洗濯機本体の前下側に仮止めしておいてください。（A、C、Dの場合）



③排水口へ接続する

つづき

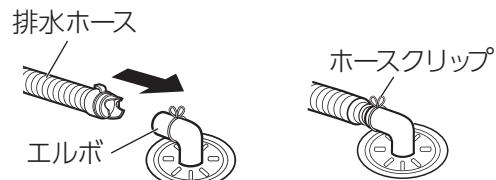
排水ホースの接続のしかた

- 排水口に付いているエルボに排水ホースを差し込み、ホースクリップで固定してください。

※排水口にエルボが付いていない場合

→排水トラップエルボ（市販）を使用する。

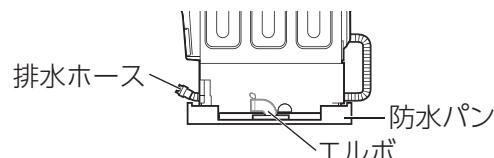
※差し込みがゆるいときは →エルボを交換する。



◆エルボが付いている場合

A：排水口が防水パンの手前・中央付近にある場合

①洗濯機を設置場所に置く



②排水ホースを排水口に接続する

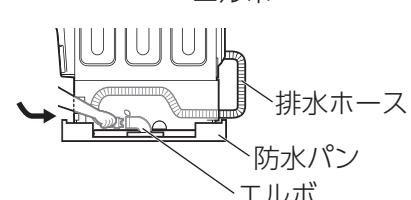


- 洗濯機下部の置台開口部から手を入れて作業ができます。（→P5、9）



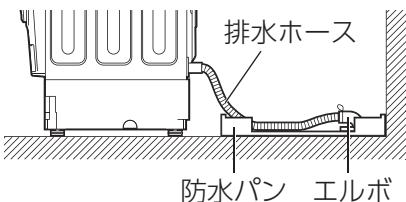
●転倒・落下による事故に十分注意してください。

●必ず、2人以上で作業してください。



B：排水口が防水パンの奥側にある場合

①洗濯機を設置場所の近くに仮置きして、排水ホースを排水口に接続する



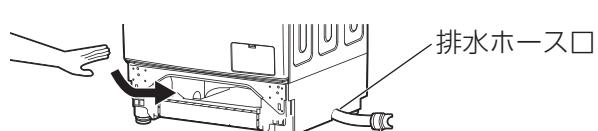
②洗濯機を設置場所に置く



- 排水ホースがつぶれないように、洗濯機本体を設置場所に置いてください。

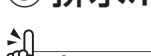
C：排水口が洗濯機の横にある場合

①洗濯機を設置場所に置く



②置台左右の排水ホース口から排水ホースを引き出す

③排水ホースを排水口に接続する



- 洗濯機下部の置台開口部から手を入れて作業ができます。（→P5、9）

●排水口に手が届きにくいときは、洗濯機本体を邪魔にならない位置に仮置きして、先に排水ホースを接続してください。

●防水パンが設置されていない場合は、洗濯機トレーまたは洗濯機パン（市販）を設置してください。

設置できない場合は、調節脚のゴム部分の跡が残ったり、色移りがあるので、かさ上げ台（別売）を使用してください。（→裏表紙）

◆ エルボが付けられない・付いていない場合

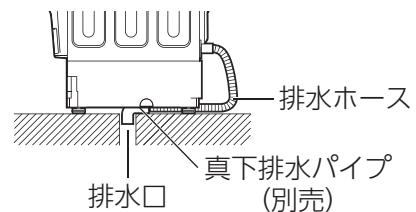
D：排水口が本体の下にある場合

※ 真下排水パイプ（別売）が必要です。（→裏表紙）

- ① 洗濯機を設置場所に置く
- ② 真下排水パイプ（別売）を排水ホースに接続して、排水口に差し込む



- 洗濯機下部の置台開口部から手を入れて作業ができます。（→P5、9）

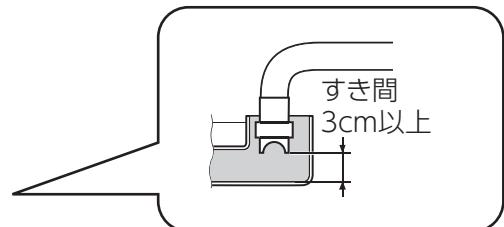


E：排水口が本体の下以外にある場合

排水ホースを直接排水口に差し込む

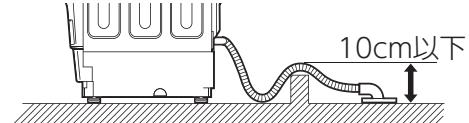


- 洗濯中に排水ホースが抜けないように、しっかり差し込んでください。
- ホースの先端と排水口の底の間に、3cm以上のすき間を設けてください。



(i) お願い

- 排水ホースが、段差やしきいなどを乗り越える場合は、高さが10cm以下になるようにしてください。

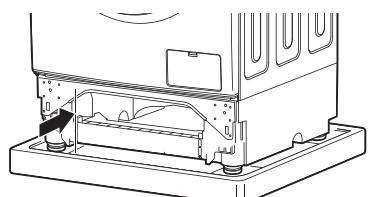


④ 設置の確認をする

洗濯機を設置場所に置く



- 排水ホースがつぶれないように、洗濯機本体を設置場所に置いてください。
- 防水パンに据え付けるときは、洗濯機の前端を防水パンの内側前端に合わせ、後ろ側を空けてください。



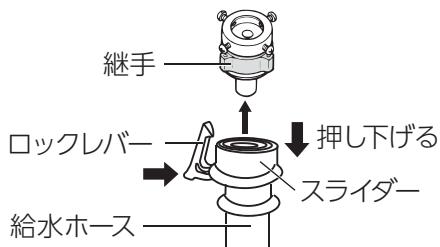
防水パンの内側前端に
本体の前端を合わせる。

⑤給水栓へ接続する

■付属の継手の取り付けかた（横水栓などを使用する場合）

- ・給水ホースから継手を取り外して、給水栓に取り付けてください。

①給水ホースのロックレバーを押してロックを外しながら、スライダーを押し下げて、引っ張って外す

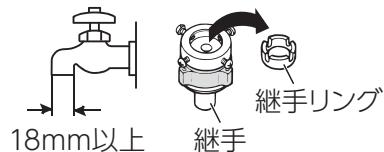


②継手の4本のねじをゆるめる

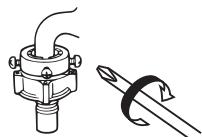


ポイント

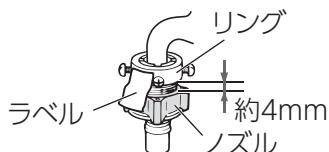
- 給水栓の口の直径が18mm以上のときは、継手リングを外す。



③給水栓の口の中心と継手のパッキンの中心が合うように、ねじを均等にしっかり締める



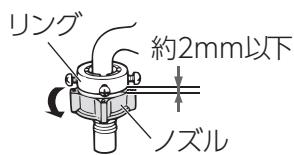
④継手のリングとノズルの間が約4mmであることを確認して、ラベルをはがす



※ ノズルの回転防止のためラベルが貼り付けてあります。ラベルをはがしてしまった場合は、ノズルを回転させてリングとノズルの間を調節してください。

⑤ノズルを右に回して締める

- ・ノズルとリングの間が2mm以下になるように締める。



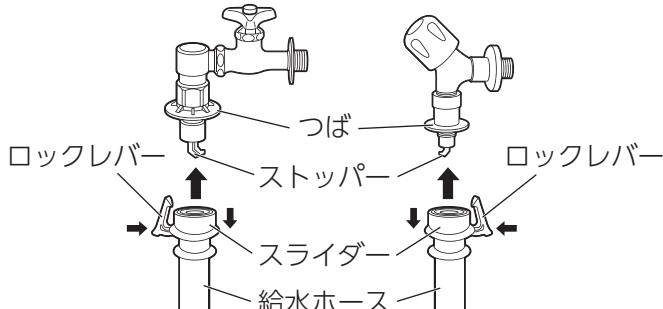
(i) お願い

- 使用中に水もれするときは、ノズルをさらに締めてください。
- 付属の継手は、時間が経つとゆるんでくることがあります。水もれがないか、定期的に点検して、増し締めなどを行ってください。
- ひんぱんに水もれしたり、水もれの可能性があるときは、ニップル付き給水栓の使用をおすすめします。

■接続のしかた

ニップル付き給水栓に接続する場合

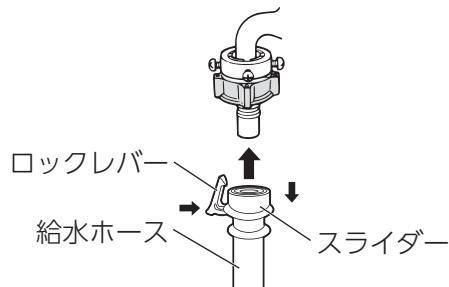
- 付属の継手を取り外し、スライダーを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



- 給水ホースを引っ張り、抜けないことを確認してください。
- 本体の電源は入れないで、給水栓を開け、水もれがないことを確認してください。

付属の継手を使用する場合

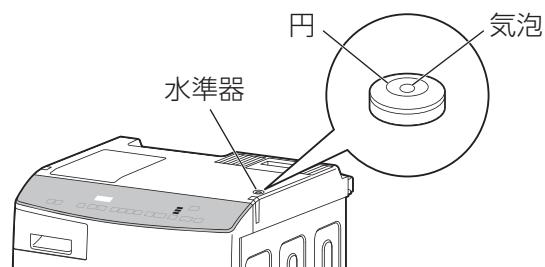
- スライダーを押し下げて、パチンと音がするまで給水ホースを押し込み、ロックレバーをつばにかけてください。



⑥水平・がたつきを確認する

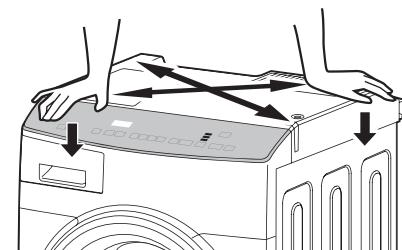
■水平の確認

- 本体上部の水準器で気泡の位置を確認してください。
 - 気泡が円内に入っているれば、脚の調節は必要ありません。
- ※ 気泡が円内に入っていない場合は、「脚の調節のしかた」(下記)を参照して、左右前方の調節脚の高さを調節してください。



■がたつきの確認

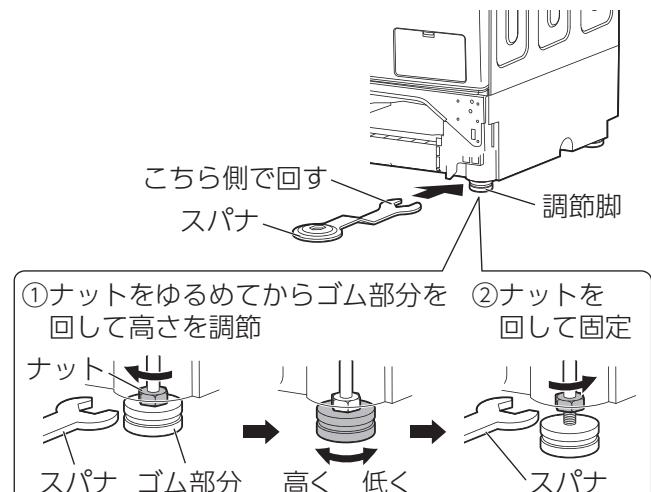
- 本体天面の角を対角線方向に押して、がたつきがないことを確認してください。
- ※ がたつきのあるときは、「脚の調節のしかた」(下記)を参照して、左右前方の調節脚の高さを調節してください。



■脚の調節のしかた

脚が浮いている場合

- 付属のスパナでナットを少しゆるめた後、下側のゴム部分を回して高さを調節する。
※ ゴム部分とナットが張り付いている場合があるので、ナットを押さえながらゴム部分を調節してください。
 - 高さが決まつたら、ナットを回して固定する。
※ 高さが変わらないように下側のゴム部分は回さず、ナットだけを回して固定してください。
- ※ 脚の高さ調節後、再度水平とがたつきを確認し、調節が不十分な場合は、再度脚の高さを調節してください。



⑦前面パネルを取り付ける

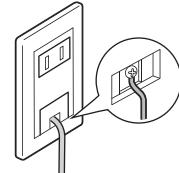
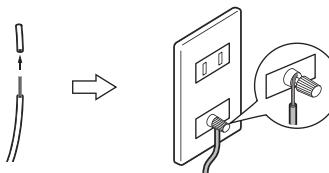
※ 前面パネルを取り付ける前に、電源基板ケースを本体下部に取り付けてください。 (→P9)

※ けがなどのおそれがあるため、前面パネルは必ず取り付けてください。 (→P5)

⑧アース・電源コードを接続する

①アースを接続する

アース端子付きコンセントがある場合



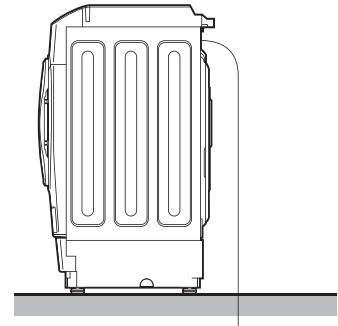
- アース線先端の絶縁被覆を抜き取り、芯線部分をアース端子に差し込んで固定します。
- ふた付きの場合はふたを開けてつないでください。

アース端子付きコンセントがない場合

- アース棒の設置が必要です。販売店または電気工事店に相談してください。
- アース端子付きコンセントが取り付けられない場合は、アース棒を設置して、アース線を接続してください。



- アースは必ず接続してください。
- ガス管や水道管、電話線や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。



アース棒

②電源プラグをコンセントに差し込む



- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
- 電源コードはたばねないで、必ずのばして使用してください。
- 洗濯機を電源プラグに押しつけないようにしてください。
- 電源コードや電源プラグが、傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
- 電源コードを、引っ張ったりして傷つけないでください。
- 延長コードは使用しないでください。

試運転

※試運転は据え付けの確認後に実施してください。
据え付けの確認には別紙チェックシートを使用してください。

1 電源プラグが差し込んであることを確認し、給水栓を開く

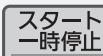
- ・給水ホースや接続部から水もれがないことを確認してください。

2 ドアを閉め、を押す

- ・電源が入ります。

3 とを同時に約3秒間長押しする

- ・表示部に  が表示されます。

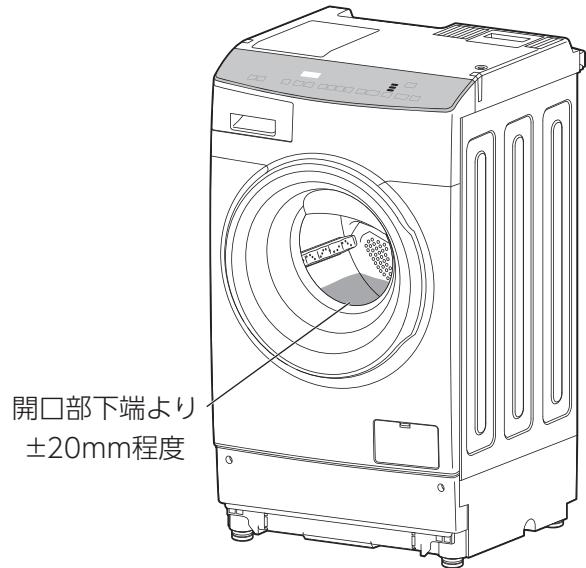
4 を押す

- ・ドラムが回転し、重量検知が動作した後、給水が始まります。
- ・給水が始まると、水位の数値が表示されます。

5 給水完了後に水位を確認する

給水完了後、一時停止します。

- 水位が、ステンレスのドラムの開口部下端から±20mm程度であれば正常です。



6 水位確認後、再度 を押す

7 完了するまで待つ

- ・問題がない場合は、表示部に  が表示されます。
(所要時間は約6分です。)

途中で運転が停止して表示部に次のエラーが表示された場合、下表にもとづいて確認してください。

表示	診断項目	確認項目
エー イチ A - 1	給水	給水栓が開いているか確認してください。
		給水圧が低くないか確認してください。水圧が低い場合は、水道工事業者か水道局にご相談ください。
ビー イチ B - 1	排水ホース	排水ホースのつぶれ・ねじれがないか確認して解消してください。
シー イチ C - 1	排水弁	故障の可能性があります。ドラム内に水が残っていないか確認してアイリスコールへご連絡ください。
ディー イチ D - 1	ドラム回転数	故障の可能性があります。脱水などの運転をして、ドラムが正常に回るか確認の上、アイリスコールへご連絡ください。
表示なし	水位センサー	上記の手順5で水位が設定通りでない場合は、故障の可能性があります。アイリスコールへご連絡ください。

別売品／据え付け関連部品

別売品

こんなときに	部品名	品番	形状	備考
防水パンがないとき	洗濯機用防水パン	SENP6565		<ul style="list-style-type: none">・サイズ：640×640×60mm・排水トラップは、ヨコ引き・タテ引きの2種あり
防水パンがなく真下排水のとき	真下排水パイプセット	MHP-1		<ul style="list-style-type: none">・真下排水パイプとかさ上げ台×4のセット
	かさ上げ台	MHP-2		<ul style="list-style-type: none">・かさ上げ台×4のセット

※仕様は予告なく変更する場合があります。

据え付け関連部品

その他、据え付けに必要な部品を用意する場合は、以下のSANEI株式会社のものを推奨します。

こんなときに	部品名	品番	形状	備考
付属の継手を使用しても給水栓が取り付けできないとき	洗濯機用L型ニップル	PY124-41TVX-16		<ul style="list-style-type: none">・オートストッパー付き・曲げ角度90°
	洗濯機用ニップル	PT3320		<ul style="list-style-type: none">・オートストッパー付き・カップリング水栓用
水栓が洗濯機より低いとき	ミニセラ洗濯機用水栓	PY1735TV-13		<ul style="list-style-type: none">・オートストッパー付き
給水ホースを延長したいとき	全自動洗濯機給水延長ホース	PT17-2-1		<ul style="list-style-type: none">・長さ：1m
排水ホースを延長したいとき	洗濯機排水ホース	PH64-861T-1.5		<ul style="list-style-type: none">・長さ：1.5m・ホース内径：30mm
防水パンがないとき	洗濯機パン	H541N-640		<ul style="list-style-type: none">・トラップ穴なし

※仕様は予告なく変更する場合があります。販売元：SANEI株式会社（適合確認済み）

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール **0800-919-0770**

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート

24時間365日

Web即時回答サービス

